

【和文】

業績リスト（編集版）

1. 刊行物（和文）

1-1 原著論文

- 1) 2017. 大沼麻実, 篠崎康子, 金 吉晴 : 災害時の不安対応と心理的応急処置 PFA (サイコロジカル・ファーストエイド) . シリーズ : 内科医と災害医療, 日本内科学会雑誌, 106, 130-132.
- 2) 2015. 伊藤大輔, 中澤佳奈子, 加茂登志子, 氏家由里, 鈴木伸一, 金 吉晴 : 外傷後ストレス障害患者の症状と生活支障度に関連する要因の比較検討 - ト라우マや症状に対する認知的評価、対処方略を用いた検討 - . 行動療法研究, 41(1), 19-29.
- 3) 2015. 大沼麻実, 金 吉晴 : 産業ストレスと災害トラウマ対策研究 (IN : 特集「産業ストレスに関する研究プロジェクトの最近の成果」) . 産業ストレス研究, 22(2):107-111.
- 4) 2014. 菊池美名子, 金 吉晴 : DSM-5 におけるトラウマ・ストレス関連疾患の診断基準について. 心と社会, 157 : 48-52.
- 5) 2013. 松岡恵子, 山川百合子, 小谷 泉, 金 吉晴 : 高次脳機能障害は自らの障害とリハビリテーションをどのように語るか. 認知リハビリテーション 18(1) : 38-49.
- 6) 2013. 野口普子, 西 大輔, 中島聡美, 小西聖子, 金 吉晴 , 松岡 豊 : 交通事故に関する認知的評価と外傷後ストレス症状に関する縦断研究. 不安障害研究 4(1),2-9.2013.
- 7) 2011. 金 吉晴 : 認知行動療法における治療者の技量の重要性, 精神科治療学 26 (3) , 289-294.
- 8) 2010. 鈴木友理子, 古川壽亮, 川上憲人, 堀口逸子, 石丸径一郎, 金 吉晴 : 震災前の身体健康指標を用いた中越地震後の心理的ストレスの予測因子の検討. 精神保健研究 56: 89-97.
- 9) 2010. 伊藤大輔, 金 吉晴 , 鈴木伸一 : ト라우マ体験者の外傷後ストレス反応の形成過程に不安感受性が及ぼす影響. 認知療法研究, 3, 49-58.
- 10) 2010. 鈴木友理子, 深澤舞子, 金 吉晴 : 保健師における災害精神保健支援に関する準備状況.トラウマティック・ストレス 8: 45-53.
- 11) 2009. 鈴木友理子, 本間寛子, 堤敦朗, 金 吉晴 : 新潟中越地震 3 年後の地域高齢者における精神障害の有病率調査. 精神神経学雑誌 111 : 405-410.
- 12) 2009. 金 吉晴 : 災害時地域精神保健医療活動ガイドライン. 精神保健研究 22(55):25-26.
- 13) 2009. 曾雌崇弘, 栗山健一, 金 吉晴 , 萩原 裕子 : 有標言語表現処理における短期作業記憶過程と実行系機能の関係に関する事象関連電位研究. 精神保健研究:21 (54) : 73-82.

- 14) 2009. 金 吉晴 : PTSD の認知行動療法 : 精神療法.224-225.
- 15) 2009. 石丸徑一郎・金 吉晴 : PTSD に対する持続エクスポージャー法, 精神保健研究 22 (55) : 89-94.
- 16) 2008.野口普子, 松岡 豊, 西大輔, 中島聡美, 佐野恵子, 小西聖子, 金 吉晴 : 交通事故に関する認知と精神的苦痛の関連についての横断研究. Japanese Journal of General Hospital Psychiatry, 20 (3) :279-285. 日本総合病院精神医学会, 東京.
- 17) 2007. 原恵利子, 北山徳行, 金 吉晴, J.D.Bremner: 側脳室の拡大を伴う外傷後ストレス障害 (PTSD) の 2 症例—その成因と発症脆弱因子に関する考察. 精神医学 49:1251-1254.
- 18) 2007. 大江美佐里, 前田正治, 金 吉晴 : PTSD 患者に対する paroxetine 使用の現状—多施設間後方視調査—. ト라우マティック・ストレス, 5:167-174.
- 19) 2007. 栗山健一, 金 吉晴 : 外傷性記憶と解離. 精神科治療学. 22:395-399.
- 20) 2007. 植月美希, 松岡恵子, 笠井清登, 荒木剛, 管心, 山末英典, 前田恵子,山崎修道, 古川俊一, 岩波明, 加藤進昌, 金 吉晴 : 統合失調症患者の発病前知能推定に関する日本語版 National Adult Reading Test (JART)短縮版妥当性の検討. 精神医学. 49:17-23.
- 21) 2007. 長江信和, 廣幡小百合, 志村ゆず, 山田幸恵, Edna B. Foa, 根建金男, 金 吉晴 : 日本語版外傷後ストレス診断尺度作成の試み—一般の大学生を対象とした場合の信頼性と妥当性の検討—. ト라우マティック・ストレス. 5:51-56.
- 22) 2006. 金 吉晴, 笠原俊彦, 小西聖子 : ペルー日本大使公邸人質占拠事件の心理的影響. 精神医学. 48:311-317.
- 23) 2006. 張賢徳, 堤敦朗, 藤田利治, 金 吉晴 : 日本の自殺の現況—とくに激増後の変化と SSRI 処方の関係について. 精神科. 8:347-351.
- 24) 2006. 中島聡美, 金 吉晴, 福島昇, 島田恭子:新潟県中越地震における精神保健医療チームの活動の実態—こころのケアチームのアンケート調査から—. ト라우マティック・ストレス. 4:135-144.
- 25) 2005. 永岑光恵, 金 吉晴 : 嘘・だましの脳科学. 精神保健研究. 51:27-33.
- 26) 2005. 松岡 豊, 中島聡美, 川瀬英理, 西大輔, 金 吉晴, 大友康裕 : 交通事故被害者へのパロキセチン投与の精神的ストレス軽減に対する有効性の検討:我が国の交通事故被害者における精神疾患有病率. 精神薬療研究年報. 37:256-262.
- 27) 2005. 川瀬英理, 松岡 豊, 中島聡美, 西大輔, 大友康裕, 金 吉晴 :三次救急医療における精神医学的問題の検討.精神保健研究.51:65-70.
- 28) 2005. 長江信和, 金 吉晴 : 災害時を想定した外傷後ストレス障害の一次予防について.

- 精神保健研究. 51:81-90.
- 29) 2004. 松岡 豊,中島聡美, 金 吉晴 : かかりつけ医におけるうつ病スクリーニング介入の有用性. 日本医事新報. 4195:62-68.
 - 30) 2004. 柳田多美, 米田弘枝, 浜田友子, 加茂登志子, 金 吉晴 : ドメスティック・バイオレンス被害者の短期トラウマ反応とその回復. 心理臨床学研究. 22:152-162.
 - 31) 2004. 金 吉晴 : 統合失調症の呼称と概念. 医学と薬学. 51:385-391.
 - 32) 2004. 金 吉晴 : 心因反応と PTSD. トラウマティック・ストレス. 2:35-41.
 - 33) 2004. 長江信和, 広幡小百合, 志村ゆず, 根建金男, 金 吉晴 : 日本の大学生における外傷的出来事の体験とその影響. トラウマティック・ストレス. 2:77-80.
 - 34) 2004. 鈴木誠, 飛鳥井望, 金 吉晴, 田中究, 藤森和美 : 小学校上空で発生した空中衝突事故の支援から. トラウマティック・ストレス. 2:81-90.
 - 35) 2004. 長江信和, 増田智美, 山田幸恵, 金築優, 根建金男, 金 吉晴 : 大学生を対象としたライフ・イベントの実態調査と日本版外傷後認知尺度の開発. 行動療法研究. 30:113-124.
 - 36) 2003. 金 吉晴 : 心因性疾患から見た PTSD 概念. 精神保健研究. 69-71.
 - 37) 2002. 金 吉晴 : PTSD の症状評価とその意義. 臨床精神医学. 増刊号:31-35.
 - 38) 2002. 金 吉晴 : 統合失調症へのスティグマと取り組む世界プログラムについて. 日本精神神経科病院協会誌. 21:8-11.
 - 39) 2002. 金 吉晴 : 集団災害と心のケア. 治療学. 36:953-955.
 - 40) 2002. 金 吉晴 : 学校精神保健における PTSD の理解のために. 日本医師会雑誌. 128:535-539.
 - 41) 2002. 松岡恵子, 金 吉晴, 広尚典, 宮本有紀, 藤田久美子, 田中邦明, 小山恵子, 香月奈々子 : 日本語版 National Adult Reading Test (JART) の作成. 精神医学. 44:503-511.
 - 42) 2002. 酒井佳永, 金 吉晴, 秋山剛, 栗田広 : 精神障害無自覚度評定尺度日本語版 (SUMD-J) の信頼性と妥当性の検討. 精神医学. 44:491-502.
 - 43) 2001. 金 吉晴 : 人質テロ事件とトラウマ反応. 日本職業災害医学会会誌. 49:428-431.
 - 44) 2001. 金 吉晴 : DSM の意義と精神療法. 精神療法. 27:455-461.
 - 45) 2001. 金 吉晴 : 精神病理学の領域. 臨床精神病理. 22:113-120.
 - 46) 2000. 金 吉晴 : PTSD という概念の意義と問題点. 精神科治療学. 15:823-828.
 - 47) 2000. 酒井佳枝, 金 吉晴, 秋山剛, 立森久照, 栗田広 : 病識評価尺度日本語版 (SAI-J) の信頼性と妥当性の検討. 臨床精神医学. 29:177-183.

- 48) 1999. 笠原敏彦, 金 吉晴, 小西聖子: 在ペルー日本国大使公邸占拠事件における人質家族のメンタルヘルスとその支援活動. 精神医学. 41:1237-1242.
- 49) 1999. 金 吉晴: 精神分裂病の症状論の科学性. こころの臨床アラカルト. 18:160-162.
- 50) 1999. 金 吉晴: ト라우マとその回復. こころの科学. 84:2-8.
- 51) 1998. 金 吉晴: 精神症への洞察と文化. 文化とこころ. 4:311-315.
- 52) 1998. 金 吉晴, 藤堂直之: 薬剤起因性の精神症状錐体外路症状. 臨床と薬物治療. 17:813-816.
- 53) 1998. 金 吉晴: 病識の諸相. 精神科治療学. 13:1073-1078.
- 54) 1998. 金 吉晴: ペルー日本大使公邸占拠事件とメンタルヘルス活動. 精神保健研究. 44:81-83.
- 55) 1997. 疾患概念と用語に関する委員会 精神分裂病の呼称を検討する小委員会 岩館敏晴, 牛島定信, 大野裕, 岡上和雄, 金 吉晴, 堺俊明, 薩美由貴, 佐藤光源, 染矢俊幸, 高木俊介, 中根允文, 森山公夫: 精神分裂病の概念と用語に関するアンケート 調査報告:その 2. 精神神経学雑誌. 99:588-613.
- 56) 1996. 金 吉晴: 精神分裂症の自知力及其臨床意又. 上海精神医学. 8:218.
- 57) 1996. 金 吉晴: 病識問題の潮流. 臨床精神病理. 18:122-124.
- 58) 1996. 金 吉晴: 多数例研究の方法と批判. 精神医学. 38:485-492.
- 59) 1996. 岩館敏晴, 牛島定信, 大野裕, 岡上和雄, 金 吉晴, 堺俊明, 薩美由貴, 佐藤光源, 染矢俊幸, 高木俊介, 中根允文, 森山公夫: 精神分裂病の概念と用語に関するアンケート:その 1. 精神神経学雑誌. 98:245-265.
- 60) 1992. 金 吉晴: スキゾフレニア診断学の方法論的検討. 精神神経学雑誌. 94:711-737.
- 61) 1992. 金 吉晴: 注意障害と強迫、妄想を呈した一例. 精神科診断学. 2:437-447.
- 62) 1991. 金 吉晴, 中谷和夫, 高木晴良: 多施設共同研究における患者データのコンピューターによる伝達システムの検討. 精神保健研究. 4:177-180.
- 63) 1989. 金 吉晴, 新宮一茂: 一破瓜病者の途絶における非分裂病的事態について. 臨床精神病理. 10:99-110.
- 64) 1987. 本谷研司, 門真一郎, 石坂好樹, 南陽子, 金 吉晴: 児童に対する医学的人体実験と人権の保護. 児童青年精神医学とその近接領域. 28:251-260.

1-2 総説

- 1) 2017.7. 金 吉晴: 持続エクスポージャー療法からみた PTSD. 精神科治療学 32(7):901-907.

- 2) 2017.5. 井野敬子, 金 吉晴 : PTSD に対する持続エクスポージャー療法. 精神医学, 59(5) : 441-447.
- 3) 2017.3. 金 吉晴 : 長崎市被爆未指定地域住民における原爆目撃体験と関連する精神状態についての調査研究について. 精神保健研究 63: 25-30.
- 4) 2016.1.金 吉晴, 中島聡美, 堀 弘明, 関口 敦: 不安障害、PTSD の治癒と再燃に関わる要因. 精神保健研究 62 : 35-39.
- 5) 2014.3. 荒川亮介, 金 吉晴 : 震災における脳画像研究. 精神保健研究 60: 97-100.
- 6) 2014.3. 金 吉晴, 伊藤真利子 : PTSD の記憶機能と治療的意義. 精神保健研究 60: 35- 39.
- 7) 2013.金 吉晴 : 自然災害後の精神医療対応の向上の取り組み. 日本精神科病院協会雑誌, 32(10):19-26.
- 8) 2013.金 吉晴 : 放射線災害への不安と精神科医 (東日本大震災・福島第一原発事故と精神科医の役割 8) . 精神医学, 55(9) : 899-908.
- 9) 2013.金 吉晴 : 災害時の不安障害のマネジメント. 保健医療科学 62(2):144-149.
- 10) 2013.金 吉晴 : 不安障害. 専門医部会シリーズ : 内科医と災害医療 日本内科学会雑誌, 102(1)183-189.
- 11) 2012.金 吉晴, 鈴木友理子, 伊藤正哉 : PTSD—その概念と有用性—. 精神医学 54 (6) : 552-562.
- 12) 2012.金 吉晴 : 災害と精神医療. Heart View 16 (7) : 86- 90.
- 13) 2012.金 吉晴, 大沼麻実 : 災害時の精神保健医療とトラウマの理解. 産業精神保健 20 (特別号) : 2-9.
- 14) 2012.伊藤正哉, 中島聡美, 金 吉晴 : 災害による死別・離別後の悲嘆反応. トラウマティック・ストレス 10(1), 53-57.
- 15) 2012.中島聡美, 伊藤正哉, 村上典子, 小西聖子, 白井明美, 金 吉晴 : トラウマティック・ストレス 10(1) , 71-76.
- 16) 2012.鈴木友理子, 伊藤弘人, 小原聡子, 深澤舞子, 金 吉晴. 災害精神保健対応におけるクリティカルパスの有用性の検討. トラウマティック・ストレス. 10(1):22-31.
- 17) 2012. 金 吉晴, 秋山 剛, 大沼麻実 : 東日本大震災後の精神医療初期対応について. 精神保健研究 58 : 15-20.
- 18) 2012. 金 吉晴 : 持続エクスポージャー療法. 今日の精神疾患治療指針 編集 : 樋口輝彦他 19 精神療法, 医学書院, P787-788,2012.
- 19) 2011. 栗山健一, 金 吉晴 : P T S D : 記憶と意識の病理. 第 1 1 回八ヶ岳シンポジウ

- ム「Fear Circuit Disorder の基礎と臨床」. 分子精神医学 11(2): 46-48, 先端医学社.
- 20) 2011. 和田 信, 和田 知未, 金 吉晴 : 特集●医をめぐるトラウマ がん患者における心的外傷と PTSD. トラウマティック・ストレス 9 (2) 72-80, 2011.
- 21) 2011. 金 吉晴 : 自然災害後の精神保健医療の対応について. [座談会] 特集●東日本大震災-1, トラウマティック・ストレス 9(2)17,pp40-45.
- 22) 2011. 金 吉晴 : 東日本大震災における被ばく不安. 特集: フクシマの教訓—放射能被ばく事故に学ぶところのケア. 臨床精神医学, 40(11):1461-1465.
- 23) 2010. 金 吉晴, 鈴木友理子, 中島聡美: 精神医療支援. 日本内科学会雑誌 99 : 3108-3111.
- 24) 2010. 金 吉晴 : PTSD と裁判. 精神科治療学 25(6): 833-837
- 25) 2008. 寺島瞳, 金 吉晴 : 虐待が子どもに及ぼす中・長期的影響. 思春期学 26 : 194-197.
- 26) 2007. 金 吉晴 : 妄想とその意味を巡って—Musalek 教授臨床講義より. 臨床精神病理. 28:53-57.
- 27) 2007. 正木智子, 柳田多美, 金 吉晴, 加茂登志子: PICT (Parent-Child Interaction Therapy) —親子のための相互交流療法について—. トラウマティック・ストレス. 5:67-73.
- 28) 2006. 金 吉晴 : 自然災害と精神医療. Medical digest. 55:48-55.
- 29) 2006. 北山徳行, 金 吉晴 : PTSD の生物学的研究—神経画像研究の発展と今後の展望—. 脳と精神の医学. 17:333-339.
- 30) 2006. 原恵利子, 永岑光恵, 松岡 豊, 金 吉晴 : PTSD の薬物療法に関する最近の知見. トラウマティック・ストレス. 4:65-67.
- 31) 2006. 原恵利子, 金 吉晴 : うつ病を超えた SSRI の使用法とその可能性. 脳 21. 9:66-68.
- 32) 2005. 氏家由里, 金 吉晴 : PTSD とトラウマケア—PTSD に対する治療. 看護技術. 51:20-23.
- 33) 2005. 永岑光恵, 金 吉晴 : 嘘・だましの脳科学—fMRI 研究の知見から—. 精神保健研究. 51:27-33.
- 34) 2005. 金 吉晴 : 海外勤務者の PTSD の現状と対策. 海外勤務と健康. 33-36.
- 35) 2005. 長江信和, 金 吉晴 : 災害時を想定した外傷後ストレス障害の一次予防について. 精神保健研究. 51:81-90.
- 36) 2005. 金 吉晴 : 病名変更の意義と影響. Schizophrenia Frontier. 6:38-41.

- 37) 2004. 松岡 豊, 松岡素子, 永岑光恵, 中島聡美, 金 吉晴 : がん患者と PTSD. 臨床精神医学. 33:699-706.
- 38) 2004. 金 吉晴 : PTSD の治療. Bulletin of Depression and Anxiety Disorders. 2:4-7.
- 39) 2003. 金 吉晴 : 心的トラウマと精神医学. 国立医療学会誌 医療. 57:231 - 236.
- 40) 2003. 金 吉晴 : 統合失調症. Neurological Science. 11:2-4.
- 41) 2003. 金 吉晴 : 人質テロ事件と心のケア. PSIKO. 29:10-15.
- 42) 2003. 金 吉晴 : ICD-10 における統合失調感情障害. 臨床精神医学. 32:751-756
- 43) 2003. 金 吉晴 : 反スティグマプログラムと呼称変更. 精神医学. 45:619 - 624.
- 44) 2002. 金 吉晴 : PTSD の歴史と診断について. こころの臨床. 21:168-170.
- 45) 2002. 金 吉晴 : PTSD. こころの科学. 106:60-63.
- 46) 2002. 金 吉晴 : 心的外傷後ストレス障害. 心療内科. 6:235-239.
- 47) 2002. 金 吉晴 : 「精神分裂病」の病名変更の動き. 心と社会. 33:49-54.
- 48) 2002. 金 吉晴, 飛鳥井望, 加藤寛 : 日本における PTSD の歩み. こころの臨床. 21:158-167.
- 49) 2002. 金 吉晴 : PTSD の理論と治療の実際. こころの臨床. 21.
- 50) 2002. 金 吉晴 : 「精神分裂病」から「統合失調症」へ. 精神科看護学. 15:42-46.
- 51) 2002. 金 吉晴 : DSM - III以降の精神分裂病研究の展望. 精神神経学雑誌. 104:76-85.
- 52) 2001. 金 吉晴 : 人為災害と PTSD. 日本精神神経科診療所協会誌. 7:67-78.
- 53) 2001. 金 吉晴 : PTSD. 精神医学レビュー. 40:113-115.
- 54) 2001. 金 吉晴 : 今日の PTSD. 心の健康. 49:12-18.
- 55) 2000. 酒井佳枝, 金 吉晴 : 精神分裂病の症状一病識. 臨床精神医学. Suppl:102-109.
- 56) 2000. 金 吉晴 : 人格障害の諸相. 心の健康. 48:12-19.
- 57) 1999. 金 吉晴 : 心的外傷とその関連障害. 精神医学レビュー. 33:29-34.
- 58) 1999. 小池清廉, 伊藤哲寛, 猪俣好正, 清水順三郎, 平田豊明, 金 吉晴 : 国公立病院精神科の医療機能分析. 精神神経学雑誌. 101:277-296.
- 59) 1999. 金 吉晴 : うつ病に対する非薬物療法の効果. 日本医事新報. 3896:107-108.
- 60) 1999. 金 吉晴 : 病識と病感. 日本医事新報. 3903:114-115.
- 61) 1998. 金 吉晴 : 病識問題の展望. ぜんかれん誌.
- 62) 1998. 藤堂直之, 金 吉晴 : 錐体外路症状. 臨床と薬物治療. 9:813-816(17-20).
- 63) 1994. 金 吉晴 : 精神病性障害. 精神科診断学. 5:123.
- 64) 1993. 金 吉晴, 角田京子, 藤縄昭 : InSka と志向性理論. 精神医学. 35:1231-1236.
- 65) 1993. 金 吉晴, 藤縄昭 : 神経症の基礎と臨床. 作業療法ジャーナル. 27:408-412.

- 66) 1993. 金 吉晴, 角田京子, 藤縄昭 : InSka と志向性理論. 精神医学. 35:1231-1236.
- 67) 1992. 永田貴美子, 荒井稔, 金 吉晴 : TAPS 計画のまとめと展望. 精神保健研究. 5:81-86.
- 68) 1992. 荒井稔, 永田貴美子, 金 吉晴 : 大規模精神病院の閉鎖の評価. 精神保健研究. 5:73-80.

1-3 著書

- 1) 2017. 金 吉晴 : VII 心的外傷およびストレス因関連障害群 PTSD の治療. 新領域別症候群シリーズ No.38 精神医学症候群 (第 2 版) II, 日本臨牀社, 東京, pp187-192.
- 2) 2017.大沼麻実, 大滝涼子, 金 吉晴 : 災害直後のこころのケア応急処置. 第 12 章 被災者・支援者のメンタルヘルスとケア, 小井土雄一, 石井美恵子編著: 多職種連携で支える災害医療-身につけるべき知識・スキル・対応力. 医学書院, 東京.
- 3) 2017.大沼麻実, 金 吉晴 : 第 17 章 PFA (サイコロジカル・ファーストエイド) .小澤康司, 中垣真通, 小俣和義編: 緊急支援のアウトリーチ—現場で求められる心理的支援の理論と実践. 遠見書房, 東京.
- 4) 2015.金 吉晴 : V 災害精神医学. 標準精神医学 第 6 版, 監修: 野村総一郎・樋口輝彦 編集: 尾崎紀夫・朝田 隆・村井俊哉, 医学書院, 東京, pp228-234.
- 5) 2014.金 吉晴 : 21. PTSD. POCKET 精神科改訂 2 版, 金芳堂, 京都, P139-144.
- 6) 2013.金 吉晴 : 集团的災害対応精神医療システム. 精神保健福祉白書編集委員会編: 精神保健福祉白書 2014 年版, 中央法規, 東京, pp38.
- 7) 2013.鈴木友理子, 金 吉晴 : 都道府県での災害時心のケアガイドライン. 精神保健福祉白書編集委員会編: 精神保健福祉白書 2014 年版, 中央法規, 東京, pp41.
- 8) 2012. 前田正治, 金 吉晴 : (編集) PTSD の伝え方: ト라우マ臨床と心理教育. 誠信書房, 東京.
- 9) 2012.金 吉晴 : 第 20 章こころのケア. 災害時の公衆衛生 私たちにできること— 元長崎大学熱帯医学研究所教授 國井 修編, 南山堂, 東京, pp290-301.
- 10) 2012. 金 吉晴 : 第 4 章 災害医療とメンタルケア 対談 遠隔医療とメンタルケア (細田 瑛一, 金 吉晴) . 災害医療と IT, (株)ライフメディコム, 東京, pp184-193.
- 11) 2012.金 吉晴 : ト라우マからの回復. NPO 法人脳の世紀推進会議編 脳を知る・創る・守る・育む 1 3. (株)クバプロ, 東京, 113-142.
- 12) 2011. 金 吉晴 : 第 2 章 外傷後ストレス性障害. 精神医療の最前線と心理職への期待. 誠信書房, 東京, pp45-58, 2011.
- 13) 2011.金 吉晴 : 外傷後ストレス障害 (PTSD) . 精神医学キーワード事典 2 章 Key Word49, 中山書店, 東京, pp125-126
- 14) 2011.藤井 猛, 藤堂 直之, 金 吉晴 : EBM 精神疾患の治療, III 神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害. 7 外傷後ストレス障害に有効な薬物療法は?. 中外医学者, 東京

- 15) 2010. 金 吉晴 : 家庭医学大全科 (六訂版) 4. こころの病気 (PTSD、解離性障害、心気症). 法研, 東京, pp778-781.
- 16) 2010. 金 吉晴, 廣幡小百合 : PTSD の心理教育. 臨床精神医学 39 (6), アークメディア, 東京, p797-793.
- 17) 2010. 金 吉晴 : 危機への心理支援学 91 のキーワードでわかる緊急事態における心理社会的アプローチ 日本心理臨床学会監修 第 2 章 (3) 災害支援の心構え : 22-2, 遠見書房, 東京
- 18) 2010. 金 吉晴 : Pocket 精神科 21. PTSD : 140-145. 金芳堂, 東京
- 19) 2010. 金 吉晴 : 精神科診療データブック 診療ガイドラインとアルゴリズム. D. 不安障害 1. PTSD:425-431. 中山書店, 東京
- 20) 2010. 金 吉晴 : 専門医のための精神科臨床リュミエール 15. 難治性精神障害へのストラテジー : 176-186. 中山書店, 東京
- 21) 2009. 金 吉晴 : 5 成人期. 第 4 章 ライフサイクルと社会精神医学. In : 社会精神医学 : 169-178. 医学書院, 東京.
- 22) 2008. 金 吉晴 (監修) : 薬害 HIV 感染被害者遺族等のメンタルケアに関するマニュアル. 薬害 HIV 感染被害者遺族等のメンタルケアに関するマニュアル作成のための検討委員会, 財団法人友愛福祉事業団 (厚生労働省補助事業), 東京.
- 23) 2008. 金 吉晴 : 精神科プライマリ・ケアにおける心的外傷後ストレス障害 (PTSD) の診断と治療. In : 精神科プライマリ・ケア : 187-198. 中山書店, 東京.
- 24) 2008. 金 吉晴 : 外傷後ストレス障害. In : 今日の治療指針 2008 年版 : 743. 医学書院, 東京.
- 25) 2007. 金 吉晴 : パーソナリティ障害. In : こころの病気を知る事典 (新版) : 159-167. 弘文堂, 東京.
- 26) 2007. 金 吉晴 : トラウマのある子どもを見逃さないために. In : 健康相談活動の理論と実際. (株)ぎょうせい, 東京.
- 27) 2007. 金 吉晴 : PTSD. In : コア・ローテーション 精神科改訂 2 版 : 140-145. 金芳堂, 京都.
- 28) 2006. 金 吉晴 : PTSD. In : 改訂レジデントハンドブック・Case Study 抗不安薬・睡眠薬・抗うつ薬・気分安定薬の使い方 : 224-227. アルタ出版, 東京.
- 29) 2006. 中島聡美, 松岡 豊, 金 吉晴 : PTSD (外傷後ストレス障害). In : チーム医療のための最新精神医学ハンドブック : 122-130. 弘文堂, 東京.
- 30) 2006. 松岡恵子, 金 吉晴 : 知的機能の簡易評価実施マニュアル. In : Japanese Adult

Reading Test (JART). 新興医学出版社, 東京.

- 31) 2006. 中島聡美, 山田幸恵, 金吉晴 : 被害者遺族の心理と支援. In : 司法精神医学(第三巻) : 3:295-300.中山書店, 東京.
- 32) 2006. 金吉晴 吉晴 [編集] : 心的トラウマの理解とケア第2版. じほう, 東京.
- 33) 2006. 金吉晴 : トラウマ反応と診断. In : 心的トラウマの理解とケア第2版 (金吉晴編) : 3-16. じほう, 東京.
- 34) 2006. 金吉晴, 岡田幸之, 黒木宣夫 : PTSD の精神鑑定ガイドライン. In : 心的トラウマの理解とケア第2版 (金吉晴編) : 298-307. じほう, 東京.
- 35) 2006. 中島聡美, 金吉晴 : 犯罪被害. In : 心的トラウマの理解とケア第2版 (金吉晴編) : 235-247. じほう, 東京.
- 36) 2005. 金吉晴 : 外傷後ストレス障害の薬物療法. In : TEXTBOOK OF ANXIETY DISORDERS : 416-431. (株)日本評論者, 東京.
- 37) 2005. 金吉晴, 中島聡美 : 新潟県中越地震を踏まえた保健医療における対応・体制に関する調査研究. In : 第5部 精神保健医療活動マニュアル : 96-104. 東京.
- 38) 2004. 金吉晴 : PTSD (外傷後ストレス障害) 等. In : 家庭医学大全科 : 826 等. 法研, 東京.
- 39) 2004. 金吉晴 : "こころとからだの健康を保つために～平成16年7月福井豪雨による災害にあたって～". 福井県.
- 40) 2004. 金吉晴 : PTSD. In : コア・ローテーション 精神科 : 192-197. 金芳堂, 京都.
- 41) 2004. 金吉晴 : 外傷後ストレス障害. In : 精神保健福祉用語辞典. 中央法規出版, 東京.
- 42) 2004. 金吉晴 : 心的外傷後ストレス障害. In : 専門医に学ぶこころのケア : 195-198. メディカルレビュー社, 東京.
- 43) 2004. 金吉晴, 川野健治, 松岡 豊:こころの健康づくり [ストレス編] CD-ROM.In:"平成15年度健康・体力づくり視聴覚教材 (CD-ROM)".財団法人健康・体力づくり事業財団,東京
- 44) 2004. 金吉晴 : PTSD の現在. In : PTSD (心的外傷後ストレス障害) : 3-9. 星和書店, 東京.
- 45) 2004. 金吉晴 : 日本における PTSD の歩み. In : PTSD (心的外傷後ストレス障害) : 11-38. 星和書店, 東京.
- 46) 2004. 金吉晴 : PTSD 歴史と診断について. In : PTSD の現在 (心的外傷後ストレス

- 障害) : 39-47. 星和書店, 東京.
- 47) 2004. 金 吉晴 : 外傷後ストレス障害. In : 今日の治療指針 2004 年版 (ポケット判) : 684-685. 医学書院, 東京.
 - 48) 2003. 金 吉晴 : 統合失調症. In: 現代社会福祉辞典. 344. 有斐閣, 東京
 - 49) 2003. 金 吉晴 : 人格障害に対する文化論的検討. In: 現代医療文化のなかの人格障害 (新世紀の精神科治療第五巻) .126-140. 中山書店, 東京
 - 50) 2003. 金 吉晴 : 残遺型分裂病. In: 精神医学症候群 I .50-52. 日本臨床社, 東京
 - 51) 2003. 金 吉晴 : 妄想型分裂病. In: 精神医学症候群 I .34-37. 日本臨床社, 東京
 - 52) 2003. 金 吉晴 : 日本が「統合失調症」という名称に変更した理由と今後の展望. In: 統合失調症——研究・医療の動向を探る. 13-24. 日本精神保健福祉連盟, 東京
 - 53) 2003. 金 吉晴, 五十嵐良雄, 大久保善朗: 討論. In: 統合失調症——研究・医療の動向を探る. 38-42. 日本精神保健福祉連盟, 東京
 - 54) 2003. 金 吉晴 : DSM-IV. In: 精神医学の名著 (福本修・斉藤環編) .平凡社, 東京
 - 55) 2002. 金 吉晴 : 統合失調症とは何か. In: 統合失調症. 日本精神神経学会呼称変更特別委員会, 東京
 - 56) 2002. 金 吉晴 : 精神分裂病から統合失調症へ——疾病モデルと用語の変遷. In: 統合失調症. 日本精神神経学会呼称変更特別委員会, 東京
 - 57) 2001. 金 吉晴 (編集) : 心的トラウマの理解とケア. じほう, 東京
 - 58) 2001. 金 吉晴 : トラウマ反応と診断. In: 心的トラウマの理解とケア (金 吉晴編) .3-16. じほう, 東京
 - 59) 2001. 金 吉晴 : 人質テロ事件. In: 心的トラウマの理解とケア (金 吉晴編) .198-209. じほう, 東京
 - 60) 2001. 金 吉晴, 岡田幸之, 黒木宣夫: PTSD の精神鑑定ガイドライン. In: 心的トラウマの理解とケア (金 吉晴編) .256-261. じほう, 東京
 - 61) 2001. 金 吉晴 : トラウマのケアのために. In: えひめ・心のふれあい. 76-94. 愛媛県
 - 62) 2001. 金 吉晴 : トラウマの理解とケア. In: これからの精神保健. 106-116.
 - 63) 2000. 金 吉晴, 笠原敏彦: 人質テロ事件. In: 臨床精神医学講座「外傷後ストレス障害」(中根充文、飛鳥井望編) .167-174. 中山書店, 東京
 - 64) 1999. 金 吉晴 : クレランボー. In: 精神医学群像. 253-273. アカデミア出版会, 京都
 - 65) 1999. 金 吉晴 : 精神分裂病の言語障害. In: 失語症臨床ハンドブック. 470-476. 金剛出版, 東京
 - 66) 1998. 金 吉晴 : 日本における精神疾患概念および分類の時代的変遷. In: 現代精神医学大系

第一巻.439-454.中山書店,東京

- 67) 1998. 金吉晴:精神障害者に関する諸問題について.In:84-88. (財) 全国精神障害者家族会連合会,東京
- 68) 1997. 金吉晴, 藤縄昭:双極性障害.In:感情障害.朝倉書店,東京
- 69) 1997. 金吉晴:精神分裂病の概念と変遷.In:精神分裂病ハンドブック.金剛出版,東京
- 70) 1995. 金吉晴:精神分裂病の思考障害 ([精神の病理学] 新宮一成,北村俊則,島悟編) 金芳堂.In:精神の病理学.179-190.金芳堂,京都
- 71) 1995. 金吉晴:人格障害.In:こころの健康百科.弘文堂,東京
- 72) 1994. 金吉晴:精神分裂病の前駆状態をうたがったうつ病例.In:精神科臨床における症例からの学び方.125-146.日本評論社,東京
- 73) 1992. 金吉晴:未視感.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 74) 1992. 金吉晴:考想伝播.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 75) 1992. 金吉晴:考想察知.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 76) 1992. 金吉晴:考想化声.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 77) 1992. 金吉晴:固定観念.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 78) 1992. 金吉晴:空笑.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 79) 1992. 金吉晴:既体験感.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 80) 1992. 金吉晴:既視感.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 81) 1992. 金吉晴:意欲増進.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 82) 1992. 金吉晴:意欲減退.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 83) 1992. 金吉晴:させられ体験.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 84) 1992. 金吉晴:させられ思考.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 85) 1992. 金吉晴:させられ現象.In:精神医学事典.弘文堂,東京
- 86) 1992. 金吉晴:精神症状論.In:心理臨床大事典.培風館,東京
- 87) 1992. 金吉晴:エイズ.In:心理臨床大事典.培風館,東京

1-4 翻訳

- 1) 2017. 金吉晴. ト라우マの過去. みずず書房、東京. (Mark Micale, Paul Lerner eds. Traumatic Pasts. Cambridge University Press, 2001)
- 2) 2014. 金吉晴, 小林由季, 大滝涼子, 大塚佳代: 青年期 PTSD の持続エクスポージャー療法 - 10 代のためのワークブック -. 星和書店, 東京. (Kelly R. Chrestman, Eva Gilboa-Schechtman, Edna B. Foa: Prolonged Exposure Therapy for PTSD. -Teen

Workbook- , Oxford, 2009.)

- 3) 2014. 金 吉晴, 中島聡美, 小林由季, 大滝涼子: 青年期 PTSD の持続エクスポージャー療法 - 治療者マニュアル -. 星和書店, 東京. (Edna B. Foa, Kelly R. Chrestman, Eva Gilboa-Schechtman: Prolonged Exposure Therapy for Adolescents with PTSD. Emotional Processing of Traumatic Experiences. Therapist Guide, Oxford, 2009.)
- 4) 2014. 金 吉晴 【監訳】: PTSD ハンドブック - 科学と実践. 金剛出版, 東京. (Matthew J. Friedman, Terence M. Keane, Patricia A. Resick : Handbook of PTSD: Science and Practice, New York, 2007)
- 5) 2012. 小西聖子, 金 吉晴 : 【監訳】 PTSD の持続エクスポージャー療法ワークブック ト라우マ体験からあなたの人生を取り戻すために. 星和書店, 東京.
- 6) 2010. 金 吉晴 : 狂気の道德化. In:濱中淑彦 (監訳) .中世の狂気、人文書院、東京. (Muriel Laharie. La fole au Moyen Age, Le Leopard d'Or, Paris, 1991)
- 7) 2009. 金 吉晴, 小西聖子 (監訳) : PTSD の持続エクスポージャー療法. 星和書店, 東京, 2009. (Foa, E., Hembree, E., Rothbaum, B.: Prolonged exposure therapy for PTSD. Oxford University Press, New York, 2007)
- 8) 2007. 金 吉晴, 原恵利子: PTSD 薬物療法アルゴリズム. メディカルフロントインターナショナル, 東京.
- 9) 2005. 大野裕, 金 吉晴 :エキスパートコンセンサスガイドラインシリーズ PTSD.アルタ出版,東京 (Foa E, Davidson J, Frances A:Treatment of Posttraumatic stress disorder.American Psychaitric Association,Washington DC.1999)
- 10) 1994. 金 吉晴 :その井戸を止めなくては.In:生命の不思議,宇宙の謎.白揚社,東京 Radetsky P:Pulling a handle off the pump In:Mysteries of life and the universe.Harcourt Brace Jovanovich,New York.1992)
- 11) 1993. 松本雅彦, 石坂好樹, 金 吉晴 :.In:境界パーソナリティの精神療法.金剛出版,東京 Waldinger RJ & Gunderson JG:Effective Pyshcotherapy of Borderline Personality.American Psychiatric Press,Washington, DC.1987)
- 12) 1990. 金 吉晴 :治療プログラムの立案.In:自閉症の治療 (石坂好樹・門真一郎監訳) .ルガール社,京都 Howlin, P and Rutter, M:Therapeutic program. In:Howlin, P and Rutter, M eds.Treatment of autistic children.John Wiley & Sons,London.1987)
- 13) 1990. 金 吉晴 :強迫行動と儀式的行為の治療.In:自閉症の治療(石坂好樹・門真一郎監訳).ルガール社,京都 Howlin, P and Rutter, M:Treatment of compulsive and ritual behaviors. In:Howlin, P and Rutter, M eds.Treatment of autistic children.John Wiley

& Sons,London.1987)

- 14) 1988. 金 吉晴, 石坂好樹:In:児童精神医学への挑戦 (高木隆郎・ローナ・ウイング編). 岩崎学術出版, 東京 Rutter, M:Autism:biological aspects and therapeutic perspective.1987)
- 15) 1988.松本雅彦, 石坂好樹, 金 吉晴:自閉症:生物学的概念と治療の展望.In:境界パーソナリティ障害.岩崎学術出版, 東京 Gunderson, JG:Borderline Personality Disorder.American Psychiatric Press,Washington DC.1984)

1-5 その他

- 1) 2017.金 吉晴 : 一般サイト こころのひだまりサイト PTSD チェックリスト監修.
- 2) 2017.金 吉晴 : PTSD の持続エクスポージャー療法. 日精協誌 36(2): 46-51.
- 3) 2016.12.26. 金 吉晴 : 相模原殺傷 5 か月 周辺住民も傷深く. 神奈川新聞 21 面.
- 4) 2016. 金 吉晴 : 長崎原子爆弾に対する曝露後の持続的な精神的苦悩. 【第 14 回日本トラウマティック・ストレス学会】JSTSS & ISTSS コラボ企画シンポジウム Trauma Around the World. トラウマティック・ストレス, 14(1): 14-20.
- 5) 2016.6.17. 金 吉晴 : 医療ルネサンス NO.6331 被災者の心を守る 以前の日常回復を目指す. 読売新聞朝刊 18 面.
- 6) 2016.5.金 吉晴, 小西聖子: PTSD (心的外傷後ストレス障害) の認知行動療法マニュアル. 不安症研究 2016 特別号, pp155-170.
- 7) 2016.5.18.金 吉晴 : 長引く避難 心のケアを~不眠・うつ病高まるリスク~. 朝日新聞朝刊 33 面.
- 8) 2016.4.30.金 吉晴 : 熊本地震 余震恐怖「心のケア」ストレス深刻・避難所に「相談室」DPAT. 読売新聞朝刊 3 面.
- 9) 2015.金 吉晴 : 特集 ト라우マと脳科学 特集にあたって. トラウマティック・ストレス 13 (2) : 21.
- 10) 2015.9.24. 金 吉晴 : 子どもにやさしい空間 避難所内に安全な居場所. 読売新聞 夕刊 8 面.
- 11) 2015. 金 吉晴 : 災害後の中期的支援について. 第 57 回総会 (仙台) 特集 シンポジウム A 【みやぎ心のケアセンター共催】東日本大震災とメンタルヘルス, 病院・地域精神医学 57(3)14-16.
- 12) 2015. 金 吉晴 : 2 月例会 被災者の心と向き合う~WHO 版 PFA の普及を目指して~. NPO 日本医学ジャーナリスト協会会報 29(2)3-4.

- 13) 2015.3. 金 吉晴 : こころのケア国際シンポジウム 災害とこころのケア - 復興と心の回復 - 報告書. こころのケア国際シンポジウム実行委員会発行.
- 14) 2015.3.3. 金 吉晴 : 記者対象 PFA 研修開く. 新聞協会報 第 4135 号 4 面.
- 15) 2015.3.11. 金 吉晴 : ありがた迷惑な押し付け支援をしないために. 日経メディカル 私の視点.
- 16) 2014.12. 金 吉晴 : 新潟 PTSD 対策専門研修会 東日本大震災の津波と原発事故による精神的影響について. 新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター発行.
- 17) 2014.8.7. 金 吉晴 : 被災者支援 長い目で (新潟 心のケア学ぶ研修会) 【社会面】. 新潟日報モア.
- 18) 2014.8.21. 金 吉晴 : listening : 市民による被災者心のケア 震災後に脚光各地で研修実施. 毎日新聞 (ネットニュース) .
- 19) 2014. 金 吉晴 : 【レクチャーシリーズ】用語集 24 シェルショック (Shell shock ; 砲弾恐怖症) . ト라우マディック・ストレス 12(1), p108.
- 20) 2014. 金 吉晴 : 巻頭言 災害精神医療の新しい取り組み (DPAT) . 厚生科学 WEEKLY620 号.
- 21) 2013. 金 吉晴 : 「認知行動療法」基礎知識 2 (2013.2.24・療育音楽・音楽療法講師勉強会より) . Happy & Healthy Music 444, 20-23.
- 22) 2013. 金 吉晴 : みやぎ心のケアセンターの 1 年間の活動に思うこと. 公益社団法人宮城県精神保健福祉協会みやぎ心のケアセンター 平成 24 年度紀要第 1 号, P153.
- 23) 2013. 大野 裕, 金 吉晴, 大塚耕太郎, 松本和紀, 田島美幸 : 災害後支援. 第 12 回日本認知療法学会シンポジウム (シンポジスト) , 認知療法研究 6(2): 113-123.
- 24) 2013. 金 吉晴 : 「認知行動療法」基礎知識 (2013.2.24・療育音楽・音楽療法講師勉強会より) . Happy & Healthy Music 443.
- 25) 2013. 金 吉晴 : 東京内科医会 学術講演会 自然災害とメンタルヘルス対応. 東京内科医會会誌, p228-238.
- 26) 2012. 金 吉晴 : ④特別講演 災害と精神医療. 第 18 回小規模精神科病院全国協議会 研修会報告書及び資料, 17-33.
- 27) 2012. 金 吉晴 : <特別講演>大震災とこころのケア. あきた心の健康 49(2011), 18-38.
- 28) 2012. 金 吉晴 : 第 25 回通常総会記念講演会「ストレスとうつ・心のマネジメント」. 放送派遣 (社) 全国放送関連派遣事業協会会報 47, 10-18.
- 29) 2012. 金 吉晴 : PTSD の概念と DSM-5 改訂に向けて. 特集 不安障害の現在とこれから -DSM-5 に向けての展望と課題, 精神神経学雑誌 114(9), 1031-1036.

- 30) 2012. 金 吉晴, 北村秀明: 東日本大震災の復興計画と中長期的支援. 特集 東日本大震災の復興計画と中長期的支援. 精神神経学雑誌 114(3), 209-210.
- 31) 2011. 金 吉晴: 東日本大震災と心のケアチームの診療レポート. 精神医療 特集 東日本大震災とこころのケア.no.64: 138-148.
- 32) 2011. 加藤寛, 鈴木友理子, 金 吉晴. 自然災害後の精神保健医療の対応について. トラウマティック・ストレス 特集 東日本大震災—1. 9(2): 40-45.
- 33) 2011. 金 吉晴: “大震災後のメンタルヘルスを考える”. うつと不安の情報誌 D-Plus, 臨時増刊号, pp2-6.
- 34) 2011.5. 金 吉晴: 犯罪・災害被害者のための精神医療を支える~成人精神保健研究部・金 吉晴部長に聞く~. 精研だより 第7号.
- 35) 2010.金 吉晴: こころのバリアフリーコーナー, 講演「知っておきたいトラウマ支援」(講演紹介). こころの健康だよりNo.28:4-5.
- 36) 2010.金 吉晴, 伊藤正哉: 第5章 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害, 7. 外傷後ストレス障害.今日の精神科治療ガイドライン 25 増刊号:168-169.
- 37) 2010.金 吉晴: 特集 認知行動療法と社会との接点. 精神神経学雑誌 112(9):867.
- 38) 2010.金 吉晴: 犯罪被害を伴った精神病体験の扱いについて. 精神神経学雑誌 112(9):868-871.
- 39) 2010.深澤舞子, 鈴木友理子, 金 吉晴: 都道府県及び政令指定都市を対象とした災害時精神保健活動に関するニーズ調査. 日本社会精神医学会雑誌 19: 16-26, (資料論文)
- 40) 2009. 金 吉晴: トラウマからの回復. 読売新聞:医療ルネサンスN4732.
- 41) 2009. 金 吉晴: PE療法について. Medical Tribune 42 (24) : 20-21.
- 42) 2009.金 吉晴, 川村則行, 堤敦朗, 井筒節, 宮崎隆穂, 吉川武彦: 被爆体験者のもたらす心理的影響について. 第104回日本精神神経学会総会シンポジウム「トラウマの心理的影響に関する実態調査から」. 精神神経学雑誌 111(4): 400-404, 2009.
- 43) 2009. 松岡 豊, 西大輔, 中島聡美, 金 吉晴: 受傷後1ヶ月における交通事故者の精神疾患とその予測因子に関する検討. 第104回日本精神神経学会総会シンポジウム「トラウマの心理的影響に関する実態調査から」. 精神神経学雑誌 111(4): 417-422, 2009.
- 44) 2009. 鈴木友理子, 堤敦朗, 本間寛子, 金 吉晴: 新潟中越地震3年後の地域高齢者における精神障害の有病率調査. 第104回日本精神神経学会総会シンポジウム「トラウマの心理的影響に関する実態調査から」, 精神神経学雑誌 111: 405-410, 2009.
- 45) 2009.金 吉晴: トラウマと PTSD. 青年期の攻撃性—“こもる”と“きれる”—. 青健シリーズ 21: 39-45, 57-61, 2009.

- 46) 2009.2.12. 金 吉晴 : 家庭内 (配偶者間) 暴力 (DV) . シリーズ続・社会問題から見た心の病～事例編⑩～. Medical Tribune 42(7) : 79. 東京.
- 47) 2008. 金 吉晴 : 統合失調症への病名変更. 心と社会. 日本精神衛生会, 東京, 39(4) : 40-44.
- 48) 2008. 金 吉晴 : 原子力災害時における住民のメンタルヘルスケアのあり方について. 特集: 緊急被ばく医療の歩みと展望④～メンタルヘルス対策について～. 「緊急被ばく医療」ニュースレター, No.25.財団法人 原子力安全研究協会 : 1-3.
- 49) 2008. 金 吉晴 : 家庭内 (配偶者間) 暴力 (DV) . シリーズ 社会問題から見た心の病. Medical Tribune, Vol.41, No.10 : 46.
- 50) 2008.5.13. 金 吉晴 : 恐怖記憶を書き換える. 科学. 東京新聞.
- 51) 2007. 金 吉晴 : ト라우マと解離 特集にあたって. ト라우マティック・ストレス. 5: 11-13.
- 52) 2007. 金 吉晴 : ピエール・ジャネと, 心的トラウマにおける適応の破綻. ト라우マティック・ストレス 5:93
- 53) 2006. 原恵利子, 永岑光恵, 松岡 豊, 金 吉晴 : PTSD の薬物療法に関する最近の知見. ト라우マティック・ストレス 4 : 65-67
- 54) 2006. 金 吉晴 : DV 被害者への支援と理解. 母子保健. 9月号:1-3.
- 55) 2006. 金 吉晴 : 巻頭言. ト라우マティック・ストレス. 4(1).
- 56) 2004. 金 吉晴 : ト라우マ周辺の子どもたち. 実践情報通信マインディックスぷらざ. 10:1.
- 57) 2003. 金 吉晴 : 統合失調症への病名変更—偏見解消が今後の課題. メディカルトリビューン. 36:4.
- 58) 2003. 金 吉晴 : 精神分裂病から統合失調症へ. Psychoses. 8:15.
- 59) 2003. 金 吉晴 : 統合失調症について. これからのメンタルヘルス (ラジオたんぱ医療専門番組放送収録集) . 31:5-6.
- 60) 2002. 金 吉晴 : 学校精神保健と子どものトラウマ. 千葉県医師会報. 12-18.
- 61) 2002. 金 吉晴 : 心的トラウマの理解に向けて. 甲南女子大学学生相談室年報. 2:1-18.
- 62) 2002. 金 吉晴 : PTSD. 毎日ライフ. 33:47-56.
- 63) 2002. 加藤進昌 (司会) , 飛鳥井望, 金 吉晴 , 神庭重信 : PTSD とその周辺をめぐって. 臨床精神医学. 増刊号:7-21.
- 64) 2002. 金 吉晴 : 特集にあたって. こころの臨床. 21:155-157.
- 65) 2002. 金 吉晴 : PTSD の正しい理解のために. デンタルダイヤモンド. 27:82-83.

- 66) 2001. 金 吉晴 : 内因性精神障害の分類. 週刊医学界新聞. 7.
- 67) 2001. 金 吉晴 : 喪失家族のケアのために. こころの扉. 24:3-6.
- 68) 2001. 堺宣道, 金 吉晴 : PTSD の実用的なマニュアル. 公衆衛生情報. 61.
- 69) 2000. 金 吉晴 : トラウマ. ぜんかれん. 44.
- 70) 1995. 金 吉晴 : 患者本人の病気と症状の認知. ぜんかれん誌. 24-27.
- 71) 1993. 金 吉晴 : スキゾフレニアと世界のまなざし. アキューム. 102-105.
- 72) 1992. 金 吉晴 : 「続・分裂病と構造」書評. 精神療法. 18:173-174.
- 73) 1992. 金 吉晴 : 「注意障害と強迫、妄想を呈した一例について」に対する討論への回答. 精神科診断学. 3:345-347.

1-6 研究報告書

- 1) 2017. 金 吉晴 : 災害時の精神保健医療に関する研究. 平成 28 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(障害者政策総合研究事業 (精神障害分野))総括・分担研究報告書. pp1-4.
- 2) 2017. 金 吉晴, 加藤 寛, 荒井秀典, 松本和紀, 前田正治, 富田博秋, 鈴木友理子, 神尾陽子, 松下幸生, 大塚耕太郎, 井筒 節 : 災害時精神保健活動ガイドライン : 国内外の文献の検証と新たな包括的ガイドライン作成にむけての構想. 平成 28 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(障害者政策総合研究事業 (精神障害分野))総括・分担研究報告書. pp5-138.
- 3) 2017. 金 吉晴 : こころの健康づくりを推進する地域連携のリモデリングとその効果に関する政策研究. 平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業 (精神障害分野) 総括・分担研究報告書. pp1-4.
- 4) 2017. 金 吉晴, 山之内芳雄, 三島和夫, 神尾陽子 : 全国市町村保健所における精神保健相談の実態調査. 平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業 (精神障害分野) 総括・分担研究報告書. pp5-52.
- 5) 2016. 堀 弘明, 金 吉晴, 伊藤真利子, 林 明明 : 健常女性における運動習慣と心理的・身体的要因の関連. 総合健康推進財団 平成 26 年度第 31 回一般研究奨励助成事業 研究報告書. pp72-80.
- 6) 2016. 伊藤真利子, 林 明明, 金 吉晴 : 運動習慣によるストレス反応の緩和ー主観評価と自律神経活動評価による実験的検討ー. 明治安田厚生事業団 第31回 (2014年度) 若手研究者のための健康科学研究助成成果報告書. pp11-16.
- 7) 2016. 金 吉晴 : 災害時の精神保健医療に関する研究. 平成27年度厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業 (障害者政策総合研究事業 (精神障害分野)) 総括・分担研究報告書. pp3-10,

- 8) 2016.金 吉晴, 島津恵子, 小林真綾: 災害時精神保健活動ガイドライン: 国内外の文献の検証と新たな包括的ガイドラインに向けての構想. 平成27年度厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業(障害者政策総合研究事業(精神障害分野))「災害時の精神保健医療に関する研究(研究代表者: 金 吉晴)」平成27年度総括・分担研究報告書. pp13-75, 2016.
- 9) 2016.金 吉晴, 大滝涼子: 持続エクスポージャー療法指導用マニュアルの作成に向けて. 平成27年度厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業「認知行動療法等の精神療法の科学的エビデンスに基づいた標準治療の開発と普及に関する研究(研究代表者: 大野 裕)」平成27年度総括・分担研究報告書. pp54-67, 2016.
- 10) 2016.金 吉晴, 大滝涼子: 第一部: 幼少期のトラウマによる複雑性PTSDのための認知行動療法 第二部: 持続エクスポージャー療法指導用マニュアルの作成に向けて. 厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業「認知行動療法等の精神療法お科学的エビデンスに基づいた標準治療の開発と普及に関する研究. 平成25-27年度総合研究報告書. pp164-209, 2016.
- 11) 2016.金 吉晴, 荒川亮介, 大沼麻実, 大滝涼子: 災害時における医療チームと関係機関との連携に関する研究 精神ケアチームとの情報共有. 平成27年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「健康危機管理・テロリズム対策に資する情報共有基盤の整備に関する研究(研究代表者: 近藤久禎)」平成25年度～平成27年度総合研究報告書. pp ●-●, 2016.
- 12) 2016.神尾陽子, 金 吉晴, 大沼麻実: 東日本大震災のメディア報道による子どもたちのメンタルヘルスへの影響. 平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(障害者政策総合研究事業(精神障害分野))「災害時の精神保健医療に関する研究」平成 27 年度総括・分担研究報告書. pp157-162, 2016.
- 13) 2016.大沼麻実, 大滝涼子, 金 吉晴: 2015年度WHO版心理的応急処置(サイコロジカル・ファーストエイド: PFA)の普及活動について. 平成27年度災害時こころの情報支援センター事業報告. pp2-7.
- 14) 2016.松岡恵子, 大沼麻実, 大滝涼子, 種市康太郎, 宮本有紀, 金 吉晴: WHO版心理的応急処置(サイコロジカル・ファーストエイド: PFA)のあり方について. 平成27年度災害時こころの情報支援センター事業報告. pp.8-31.
- 15) 2015.金 吉晴: 被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(障害者政策総合研究事業(精神障害分野)))「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究(研究代表者: 金 吉晴)」, 平成 24-26 年度総合研究報告書, pp3-11.

- 16) 2015.金 吉晴, 林 明明, 伊藤真利子, 加茂登志子, 小西聖子, 中島聡美, 下山晴彦, 石丸 徑一郎, 氏家由里, 丹羽まどか, 中山未知, 廣幡小百合: 心的外傷後ストレス障害に対する持続エクスポージャー療法の無作為比較試験. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (障害者政策総合研究事業 (精神障害分野))) 「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 (研究代表者: 金 吉晴)」, 平成 24-26 年度総合研究報告書, pp15-24.
- 17) 2015.金 吉晴, 河瀬さやか, 中山未知, 大滝涼子, 荒川和歌子: 持続エクスポージャー療法 (Prolonged Exposure Therapy: PE) の普及体制の確立に関する研究. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (障害者政策総合研究事業 (精神障害分野))) 「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 (研究代表者: 金 吉晴)」, 平成 24-26 年度総合研究報告書, pp25-28.
- 18) 2015.金 吉晴, 大沼麻実, 大滝涼子, 井筒 節, 堤 敦朗, 菊池美名子: WHO 版心理的応急処置 (サイコロジカル・ファーストエイド: PFA) の普及と研修成果に関する検証. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (障害者政策総合研究事業 (精神障害分野))) 「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 (研究代表者: 金 吉晴)」, 平成 24-26 年度総合研究報告書, pp29-42.
- 19) 2015.金 吉晴, 中谷 優: 災害時地域精神保健医療活動ガイドライン改訂に関する研究. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (障害者政策総合研究事業 (精神障害分野))) 「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 (研究代表者: 金 吉晴)」, 平成 24-26 年度総合研究報告書, pp43-49.
- 20) 2015.金 吉晴, 林 明明, 河瀬さやか, 大滝涼子, 伊藤真利子: 感情の表出に関する尺度の標準化研究. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (障害者政策総合研究事業 (精神障害分野))) 「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 (研究代表者: 金 吉晴)」, 平成 24-26 年度総合研究報告書, pp51-60.
- 21) 2015.秋山 剛, 飯田敏晴, 岩谷 潤, 川口彰子, 金 吉晴 他: 災害時の外国人支援ガイドライン案の作成. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (障害者政策総合研究事業 (精神障害分野))) 「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 (研究代表者: 金 吉晴)」, 平成 24-26 年度総合研究報告書, pp61-72.
- 22) 2015.鈴木 満, 金 吉晴, 大滝涼子, 大沼麻実他: 海外および国内の大規模緊急事態に共通する遠隔メンタルヘルス支援の現況と課題. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害

- 者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 24-26 年度総合研究報告書，pp73-83.
- 23) 2015.神尾陽子，金 吉晴，大沼麻実：被災地の子どもの精神医療支援：東日本大震災のメディア報道による子どもたちのメンタルヘルスへの影響．平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 24-26 年度総合研究報告書，pp205-215.
- 24) 2015.神尾陽子，金 吉晴，森脇愛子：被災地の子どもの精神医療支援：災害時の避難所・仮設住宅における子どもとその家族のための生活環境と支援ニーズの実態調査およびガイドライン遵守のためのチェックリスト作成．平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 24-26 年度総合研究報告書，pp217-229.
- 25) 2015.加茂登志子，金 吉晴，伊藤史エ，丹羽まどか，中山未知他：母親のうつ状態と子どもの問題行動について．平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 24-26 年度総合研究報告書，pp231-236.
- 26) 2015.金 吉晴：被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究．平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 26 年度総括・分担研究報告書，pp3-9.
- 27) 2015.金 吉晴，林 明明，伊藤真利子，加茂登志子，小西聖子，中島聡美，下山晴彦，石丸 径一郎，氏家由里，丹羽まどか，中山未知，廣幡小百合：心的外傷後ストレス障害に対する持続エクスポージャー療法の無作為比較試験．平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 26 年度総括・分担研究報告書，pp13-22.
- 28) 2015.金 吉晴，鈴木 満，井筒 節，堤 敦朗，荒川亮介，大沼麻実，菊池美名子，小見めぐみ，大滝涼子：WHO 版心理的応急処置（サイコロジカル・ファーストエイド：PFA）の普

- 及と研修成果に関する検証。平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 26 年度総括・分担研究報告書，pp23-34.
- 29) 2015. 金 吉晴，中谷 優：災害時地域精神保健医療活動ガイドライン改訂に関する研究。平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 26 年度総括・分担研究報告書，pp35-41，2015.
- 30) 2015. 金 吉晴，鈴木友理子，深澤舞子：（資料）DPAT に関する意見の収集。平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 26 年度総括・分担研究報告書，pp43-63.
- 31) 2015. 金 吉晴，河瀬さやか，中山未知，大滝涼子，丹羽まどか，伊藤史エ，堀 弘明，伊藤真利子，林 明明他：TFCBT の普及体制の確立に関する研究。平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 26 年度総括・分担研究報告書，pp65-67.
- 32) 2015. 秋山 剛，加藤 寛，金 吉晴 他：災害時の外国人支援ガイドライン案の作成。平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 26 年度総括・分担研究報告書，pp69-75.
- 33) 2015. 神尾陽子，金 吉晴，大沼麻実：被災地の子どもの精神医療支援：東日本大震災のメディア報道による子どもたちのメンタルヘルスへの影響。平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉晴）」，平成 26 年度総括・分担研究報告書，pp207-212.
- 34) 2015. 神尾陽子，金 吉晴，森脇愛子：被災地の子どもの精神医療支援：災害時の避難所・仮設住宅における子どもとその家族のための生活環境と支援ニーズの実態調査およびガイドライン遵守のためのチェックリスト作成。平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）））「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究（研究代表者：金 吉

- 晴)」、平成 26 年度総括・分担研究報告書、pp213-224.
- 35) 神尾陽子, 金 吉晴, 伊藤史エ, 丹羽まどか, 中山未知他: 母親のうつ状態と子どもの問題行動について. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(障害者政策総合研究事業(精神障害分野)))「被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究(研究代表者: 金 吉晴)」, 平成 26 年度総括・分担研究報告書, pp225-230.
- 36) 2015. 金 吉晴, 大滝涼子: 幼少期のトラウマによる複雑性 PTSD のための認知行動療法 STAIR(感情調整と対人関係調整スキルトレーニング)と NST(ナラティブ・ストーリー・テリング)治療プロトコルの検討. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業「認知行動療法等の科学的エビデンスに基づいた標準治療の開発と普及に関する研究(研究代表者: 大野 裕)」, 平成 26 年度総括・分担研究報告書, pp107-121.
- 37) 2014. 金 吉晴, 河瀬さやか, 中山未知, 大滝涼子, 荒川和歌子: 持続エクスポージャー療法(Prolonged Exposure Therapy:PE)の普及体制の確立に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野))被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 平成 25 年度分担研究報告書. pp17-25.
- 38) 2014. 金 吉晴, 鈴木 満, 井筒節, 堤敦朗, 荒川亮介, 大沼麻実, 菊池美名子, 小見めぐみ, 大滝涼子: WHO 版心理的応急処置(サイコロジカル・ファーストエイド: PFA)の普及と研修成果に関する検証. 厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野))被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 平成 25 年度分担研究報告書. pp27-38.
- 39) 2014. 金 吉晴, 林明明, 河瀬さやか, 大滝涼子, 伊藤真利子: 感情の表出に関する尺度の標準化研究. 厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野))被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 平成 25 年度分担研究報告書. pp39-47.
- 40) 2014. 金 吉晴: 被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究. 平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野)) 総括研究報告書. pp3-14.
- 41) 2014. 金 吉晴: 災害時地域精神保健医療活動ガイドライン改訂に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野))大規模災害や犯罪被害等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究 平成 25 年度分担研究報告書. pp17-24.

- 42) 2014. 金 吉晴, 伊藤真利子, 永岑光恵, 丹羽まどか, 加茂登志子: 唾液コルチゾール測定による PTSD 症状評価の利点と注意点: DV 被害母子研究に向けて. 厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野)) 大規模災害や犯罪被害等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究 平成 25 年度分担研究報告書. pp25-31.
- 43) 2014. 金 吉晴: 大規模災害や犯罪被害等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究. 平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野)) 総括研究報告書. pp3-13.
- 44) 2014. 金 吉晴: 大規模災害や犯罪被害等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究. 平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野)) 平成 23 年度~25 年度 総合研究報告書. pp3-15.
- 45) 2014. 金 吉晴, 秋山 剛, 大沼麻実: 1.東日本大震災後の精神医療初期対応の概要、2.災害時地域精神保健医療活動ガイドライン改訂に関する研究、3.成人 PTSD の薬物療法ガイドライン. 大規模災害や犯罪被害等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究. 平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業(精神障害分野)) 平成 23 年度~25 年度 分担研究報告書. pp19-31.
- 46) 2014. 金 吉晴, 荒川亮介: 災害時の精神保健医療情報の共有の在り方に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業) 健康危機管理・テロリズム対策に資する情報共有基盤の整備に関する研究 平成 25 年度分担研究報告書. (研究代表者: 近藤久禎)
- 47) 2014. 金 吉晴, 堀江美智子, 加茂登志子, 清水 悟: IPV 被害女性に対する持続エクスポージャー療法における PTSD 症状とうつ症状の関係. 厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業) 東日本大震災における精神疾患の実態についての疫学的調査と効果的な介入方法の開発についての研究 平成 25 年度分担研究報告書. (研究代表者: 松岡洋夫)
- 48) 2014. 金 吉晴: 持続エクスポージャー療法 (Prolonged Exposure Therapy: PE) の普及に向けて. 厚生労働科学研究費補助金 認知行動療法等の精神療法の科学的エビデンスに基づいた標準治療の開発と普及に関する研究 平成 25 年度研協力究報告書. (研究代表者: 大野 裕) pp77-92.
- 49) 2013. 金 吉晴: 不安への対応基礎知識 不安のコントロールに向けた住民教育. 「広島原爆体験者に対する不安軽減事業」相談担当者へのマニュアル 平成 24 年度厚生労働科学特別研究「原爆体験者の健康不安への対策に関する研究」班, pp9-67.
- 50) 2013. 金 吉晴, 荒川亮介: 成人 PTSD の薬物療法ガイドライン. 厚生労働科学研究費補

- 助金 障害者対策総合研究事業（精神障害分野）大規模災害や犯罪被害者等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp9-20.
- 51) 2013. 金 吉晴, 加茂登志子: PTSD 診断尺度日本語版の臨床群での妥当性検証. 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業（精神障害分野）大規模災害や犯罪被害者等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp21-24.
- 52) 2013. 加茂登志子, 金 吉晴: DV 被害親子に対するこころのケアガイドラインの開発に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業（精神障害分野）大規模災害や犯罪被害者等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp21-24.
- 53) 2013. 金 吉晴: 健康危機発生時における地域健康安全に係る効果的な精神保健医療体制の構築に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金健康安全・危機管理対策総合研究事業 平成 24 年度総合研究報告書（平成 22 年度～24 年度）, pp1-7.
- 54) 2013. 金 吉晴: 健康危機発生時における地域健康安全に係る効果的な精神保健医療体制の構築に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金健康安全・危機管理対策総合研究事業 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp1-7.
- 55) 2013. 金 吉晴: 複雑性 PTSD に対する認知行動療法の導入と指導体制の検討. 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業（精神障害分野）精神療法の有効性の確立と普及に関する研究 平成 24 年度分担研究報告書, pp .
- 56) 2013. 金 吉晴: ト라우マ（複雑性悲嘆を含む）に対する認知行動療法の均霑化ならびに複雑性 PTSD に対する認知行動療法の導入と指導体制の検討. 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業（精神障害分野）精神療法の有効性の確立と普及に関する研究, 平成 22-24 年度総括・分担研究報告書（研究代表者 大野 裕）, pp .
- 57) 2013. 金 吉晴, 鈴木 満, 藤代富広, 枝久保達夫, 大沼麻実, 大滝涼子, 堤 敦朗: WHO 版心理的応急処置（サイコロジカル・ファーストエイド: PFA）の導入と指導者育成システムに関する検証. 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業（精神障害分野 G）被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp8-35.
- 58) 2013. 金 吉晴: 平成 23 年東日本大震災 こころのケアチーム活動に関する調査報告書（永久保存版）＜参考資料＞都道府県別 K6 データ表. 平成 24 年度災害時こころの情報支援センター 精神保健医療指導者演習.

- 59) 2013. 鈴木友理子, 深澤舞子, 金 吉晴: 東日本大震災後の宮城県職員の精神健康とストレス要因. 厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (精神障害分野)) 大規模災害や犯罪被害等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp47-56.
- 60) 2013. 五十嵐隆, 亀岡智美, 飛鳥井望, 岩切昌宏, 加藤 寛, 金 吉晴, 齋藤 梓, 高田紗英子, 瀧野揚三, 田中 究, 野坂祐子, 元村直靖, 浅野泰子, 荒木敏宏, 伊庭千恵, 兼平高子, 佐藤 史, 澤井晴子, 鈴木悠美, 三宅和佳子, 梅林厚子, 木村友里, 高木美弦, 中村有吾: 被災後の子供の心の診療ガイドラインの作成のための基礎的研究. 厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業 被災後の子供のこころの支援に関する研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者: 五十嵐隆). pp121- 235.
- 61) 2013. 中島聡美, 加茂登志子, 鈴木友理子, 金 吉晴, 中澤直子, 小西聖子, 辻村貴子, 吉田謙一, 成澤知美, 浅野敬子, 深澤舞子: 犯罪被害者の急性期心理ケアプログラムの構築に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金障害対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者 金吉晴), pp35-46.
- 62) 2012. 金 吉晴: ト라우マ (複雑性悲嘆を含む) に対する認知行動療法の均霑化に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 (精神障害分野) 精神療法の有効性の確立と普及に関する研究 平成 23 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者: 大野 裕), p40-54.
- 63) 2012. 金 吉晴, 大沼麻実: 災害時の精神保健医療対応の課題について. 厚生労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業 健康危機発生時における地域健康安全に係る効果的な精神保健医療体制の構築に関する研究 平成 23 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴), p5-10.
- 64) 2012. 金 吉晴, 秋山 剛, 大沼麻実: 東日本大震災後の精神医療初期対応の概要. 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害者等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究 平成 23 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴) p5-12.
- 65) 2012. 金 吉晴, 大沼麻実: 自然災害のメンタルヘルスに関する研修の効果について—予備的調査—. 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害者等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究 平成 23 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴) p12-20.
- 66) 2012. 加茂登志子, 金 吉晴, 伊藤史エ, 丹羽まどか他: DV 被害母子に対する親子相互交

- 流療法 (Parent-Child Interaction Therapy: PCIT) の効果に関する研究—DV 被害母子フ
ォローアップ研究との比較. 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 (精神障
害分野) 大規模災害や犯罪被害者等による精神疾患の実態把握と対応ガイドラインの作成・
評価に関する研究 平成 23 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴) p21-38.
- 67) 2012. 中島聡美, 加茂登志子, 鈴木友理子, 金 吉晴, 成澤知美, 浅野敬子, 深澤舞子他:
犯罪被害者の急性期心理ケアプログラムの構築に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金
障害者対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害者等による精神疾患の実態
把握と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究 平成 23 年度総括・分担研究報告書 (研
究代表者: 金 吉晴) p39-86.
- 68) 2012. 鈴木友理子, 深澤舞子, 金 吉晴: 心的外傷後ストレス障害のスクリーニングおよび
症状評価のための自記式調査票の開発, 尺度特性の検討. 厚生労働科学研究費補助金 障害
者対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害者等による精神疾患の実態把握
と対応ガイドラインの作成・評価に関する研究 平成 23 年度総括・分担研究報告書 (研究
代表者: 金 吉晴) p87-92.
- 69) 2011. 中島聡美, (National Institute for Clinical Excellence. 2005)伊藤正哉, 石丸径
一郎, 白井明美, 伊藤大輔, 小西聖子, 金 吉晴: 遷延性悲嘆障害の実態と危険因子に
関する研究 —罪責感の与える影響およびソーシャルサポートの役割を中心に—. 明
治安田こころの健康財団研究助成論文集 45: 119-126.
- 70) 2011. 金 吉晴, 加茂登志子, 柳田多美: DV 被害母子家庭における母親の育児ストレ
スと認知特性に関する調査—主として子どもの精神・行動面の問題との関連について—
調査研究報告書. 平成 22 年度児童関連サービス調査研究等事業 (研究代表者: 加茂登志
子).
- 71) 2011. 金 吉晴, 加茂登志子, 小西聖子, 中島聡美, 下山晴彦, 石丸径一郎, 氏家由里,
丹羽まどか, 中山未知, 小菅二三恵, 廣幡小百合, 堤亜美, 佐合累: 心的外傷後ストレ
ス障害に対する持続エクスポージャー療法の無作為比較試験. 厚生労働科学研究費補助
金 障害対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患
の実態把握と介入手法の開発に関する研究 平成 22 年度総括・分担研究報告書 (研究代
表者 金 吉晴), pp5-14.
- 72) 2011. 松岡 豊, 西 大輔, 中島聡美, 金 吉晴: 交通外傷後の精神健康に関するコホー
ト研究. 厚生労働科学研究費補助金障害対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害
や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究 平成 22 年度
総括・分担研究報告書 (研究代表者 金 吉晴), pp71-79.

- 73) 2011. 中島聡美, 加茂登志子, 小西聖子, 中澤直子, 金 吉晴 : 性暴力被害者への急性期心理ケアプログラムの構築に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金障害対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究 平成 21 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者 金 吉晴), pp79-96.
- 74) 2011. 鈴木友理子, 深澤舞子, 中島聡美, 成澤知美, 金 吉晴 : 災害精神保健医療マニュアル改訂版作成の取り組み. 厚生労働科学研究費補助金障害対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究 平成 21 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者 金 吉晴), pp97-131.
- 75) 2011. 金 吉晴, 加茂登志子, 小西聖子, 中島聡美, 下山晴彦, 石丸径一郎, 氏家由里, 丹羽まどか, 中山未知, 廣幡小百合 : 心的外傷後ストレス障害に対する持続エクスポージャー療法の無作為比較試験. 厚生労働科学研究費補助金 障害対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究 平成 20 年度—22 年度 総合研究報告書 (研究代表者 金 吉晴), pp5-14.
- 76) 2011. 松岡 豊, 西 大輔, 中島聡美, 金 吉晴 : 交通外傷後の精神健康に関するコホート研究. 厚生労働科学研究費補助金障害対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究 平成 20 年度—22 年度 総合研究報告書 (研究代表者 金 吉晴), pp95-106.
- 77) 2011. 中島聡美, 加茂登志子, 小西聖子, 中澤直子, 金 吉晴 : 性暴力被害者への急性期心理ケアプログラムの構築に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金障害対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究 平成 20 年度—22 年度 総合研究報告書 (研究代表者 金 吉晴), pp107-120.
- 78) 2011. 鈴木友理子, 深澤舞子, 中島聡美, 成澤知美, 金 吉晴 : 災害精神保健医療マニュアル改訂版作成の取り組み. 厚生労働科学研究費補助金障害対策総合研究事業 (精神障害分野) 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究 平成 20 年度—22 年度 総合研究報告書 (研究代表者 金 吉晴), pp131-164.
- 79) 2011. 金 吉晴 : 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (精神障害分野)) 「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者 : 金 吉晴). pp1-4.
- 80) 2011. 金 吉晴 他 : 心的外傷後ストレス障害に対する持続エクスポージャー療法の無

- 作為比較試験. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (精神障害分野)) 「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp5-14.
- 81) 2011. 加茂登志子, 金 吉晴 他: DV 被害を受けた母子へのフォローアップ研究. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (精神障害分野)) 「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp29-54.
- 82) 2011. 松岡 豊, 西 大輔, 中島聡美, 金 吉晴: 交通外傷後の精神健康に関するコホート研究. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (精神障害分野)) 「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp71-78.
- 83) 2011. 中島聡美, 加茂登志子, 鈴木友理子, 金 吉晴 他: 性暴力被害者の急性期心理ケアプログラムの構築に関する研究. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (精神障害分野)) 「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp79-96.
- 84) 2011. 鈴木友理子, 深澤舞子, 中島聡美, 成澤知美, 金 吉晴: 災害精神保健医療マニュアル改訂版作成の取り組み. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (精神障害分野)) 「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp97-130.
- 85) 2011. 栗山健一, 本間元康, 曾雌崇弘, 金 吉晴: 習慣的睡眠時刻前後の恐怖記憶特性における性差. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業 (精神障害分野)) 「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp167-172.
- 86) 2011. 金 吉晴: 健康危機発生時における地域健康安全に係る効果的な精神保健医療体制の構築に関する研究. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 「健康危機発生時における地域健康安全に係る効果的な精神保健医療体制の構築に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp1-4.
- 87) 2010. 金 吉晴: 大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業) 「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp1-4.

- 88) 2010. 金 吉晴, 加茂登志子, 小西聖子, 中島聡美 他: 心的外傷後ストレス障害に対する持続エクスポージャー療法の無作為比較試験. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書(研究代表者: 金 吉晴). pp5-16.
- 89) 2010. 加茂登志子, 丹羽まどか, 正木智子, 金 吉晴 他: DV被害を受けた母子へのフォローアップ研究. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp27-64.
- 90) 2010. 松岡 豊, 西 大輔, 中島聡美, 金 吉晴: 交通外傷後の精神健康に関するコホート研究. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp81-86.
- 91) 2010. 中島聡美, 加茂登志子, 小西聖子, 中澤直子, 金 吉晴: 性暴力被害者への急性期対応の現状に関する調査. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp87-91.
- 92) 2010. 中島聡美, 小西聖子, 伊藤正哉, 白井明美, 金 吉晴: 日本語版コナー・デビッドソン回復力尺度の信頼性と妥当性の検討. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp93-97.
- 93) 2010. 鈴木友理子, 深澤舞子, 金 吉晴: 震災前の身体健康指標を用いた中越地震後の心理的ストレスの予測因子の検討. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp99-119.
- 94) 2010. 栗山健一, 曾雌崇弘, 金 吉晴: 潜在的な恐怖記憶想起の時間生物学的特性および性差. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp121-124.
- 95) 2010. 鈴木友理子, 深澤舞子, 金 吉晴: PTSD 治療ガイドライン作成の予備的研究. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)「大規模災害や犯罪被害等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 金 吉晴). pp125-158.

- 96) 2009. 金 吉晴, 中島聡美: 精神保健医療活動マニュアル. 精神保健研究 55: 29-30,
- 97) 2009. 金 吉晴, 中島聡美: 化学兵器あるいは、生物兵器によるテロ事件が発生した場合の精神医療対応. 精神保健研究 55: 27-28,
- 98) 2009. 中島聡美, 伊藤正哉, 石丸径一郎, 伊藤大輔, 寺島 瞳, 大関千春, 白井明美, 小西聖子, 金 吉晴: 重度ストレス障害の認知行動療法の効果に関する研究. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)「精神療法の実施方法と有効性に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者 大野裕). pp53-63,
- 99) 2009. 中島聡美, 伊藤正哉, 石丸径一郎, 伊藤大輔, 寺島瞳, 大関千春, 白井明美, 小西聖子, 加茂登志子, 金 吉晴: 重度ストレス障害の認知行動療法の効果に関する研究. 平成 19-21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)「精神療法の実施方法と有効性に関する研究」総合研究報告書 (研究代表者 大野裕). pp56-66.
- 100) 2009. 中島聡美, 伊藤正哉, 石丸径一郎, 伊藤大輔, 寺島瞳, 大関千春, 白井明美, 小西聖子, 金 吉晴: 重度ストレス障害の認知行動療法の効果に関する研究. 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)「精神療法の実施方法と有効性に関する研究」総括・分担研究報告書 (研究代表者: 大野裕). pp53-63,
- 101) 2009. 金 吉晴: 大規模災害や犯罪被害者等による精神科疾患の実態把握と介入手法の開発に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業. 平成 20 年度総括・分担研究報告書 (主任研究者: 金 吉晴) .pp5-8.
- 102) 2009.石丸径一郎, 金 吉晴: 心的外傷後ストレス障害に対する持続エクスポージャー療法の日本における実施可能性と認知の変化. 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業. 平成 20 年度総括・分担研究報告書 (主任研究者: 金 吉晴).pp10-17.
- 103) 2009.加茂登志子, 大澤香, 丹羽まどか, 加藤寿子, 中山未知, 丹愛, 氏家由里, 中島愛子, 正木智子, 小菅二三恵, 大村美菜子, 金 吉晴: DV被害を受けた母子へのフォローアップ研究. 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業. 平成 20 年度総括・分担研究報告書 (主任研究者: 金 吉晴) .pp34-68.
- 104) 2009.松岡 豊, 西大輔, 中島聡美, 金 吉晴: 交通外傷後の精神健康に関するコホート研究. 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業. 平成 20 年度総括・分担研究報告書 (主任研究者: 金 吉晴) .pp84-89.
- 105) 2009.中島聡美, 加茂登志子, 中澤直子, 井上麻紀子, 伊藤正哉, 金 吉晴: 性暴力被害者の急性期心理ケア. 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業. 平成 20 年度総括・分担研究報告書 (主任研究者: 金 吉晴) .pp90-105.
- 106) 鈴木友理子, 深澤舞子, 金 吉晴: 精神保健福祉センター等を対象とした、災害時

- 精神保健支援に関するニーズ調査. 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業. 平成 20 年度総括・分担研究報告書 (主任研究者: 金 吉晴) .pp106-118.
- 107) 栗山健一, 曾雌崇弘, 金 吉晴 : 恐怖特性が潜在的な記憶想起に与える影響. 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業. 平成 20 年度総括・分担研究報告書 (主任研究者: 金 吉晴) .pp120-125.
- 108) 2009. 鈴木友理子, 深澤舞子, 金 吉晴 : 災害時精神保健対応研修プログラム案. 厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 健康危機管理体制における精神保健支援のあり方に関する研究(H19-健危-若手-002) (研究代表者 鈴木友理子) 平成 20 年度 総括・分担研究報告書.
- 109) 2009. 鈴木友理子, 深澤舞子, 堤敦朗, 金 吉晴 : 大規模災害経験自治体の保健師等を対象とした聞き取り調査. 健康危機管理体制における精神保健支援のあり方に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 健康危機管理体制における精神保健支援のあり方に関する研究(H19-健危-若手-002) (研究代表者 鈴木友理子) 平成 20 年度 総括・分担研究報告書.
- 110) 2009. 鈴木友理子, 深澤舞子, 金 吉晴 : 保健師等を対象とする自己記入式のニーズ調査. 厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 健康危機管理体制における精神保健支援のあり方に関する研究(H19-健危-若手-002) (研究代表者 鈴木友理子) 平成 20 年度 総括・分担研究報告書.
- 111) 2009. 鈴木友理子, 深澤舞子, 堤敦朗, 金 吉晴 : 健康危機管理体制における精神保健支援のあり方に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 健康危機管理体制における精神保健支援のあり方に関する研究(H19-健危-若手-002) (研究代表者 鈴木友理子) 平成 20 年度 総括・分担研究報告書.
- 112) 2009. 鈴木友理子, 深澤舞子, 堤敦朗, 金 吉晴 : 厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 健康危機管理体制における精神保健支援のあり方に関する研究(H19-健危-若手-002) (研究代表者 鈴木友理子) 平成 19 年度～20 年度 総合研究報告書.
- 113) 2009. 中島聡美, 伊藤正哉, 石丸径一郎, 金 吉晴 : PTSD の認知行動療法の有効性に関する国内外の研究の動向. 厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業 「精神療法の実施方法と有効性に関する研究」 (主任研究者: 大野裕) . 164-177 平成 20 年度総括・分担研究報告書. 164-177.
- 114) 2008. 金 吉晴, 川上憲人, 松本俊彦, 中島聡美, 鈴木友理子, 松岡 豊 : 社会的問題による、精神疾患や引きこもり、自殺等の精神健康危機の実態と回復に関する研究.

- 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業. 平成 19 年度総括・分担報告書
(主任研究者: 金 吉晴).
- 115) 2008.鈴木友里子, 本間寛子, 下間千加子, 堤敦朗, 深澤舞子, 金 吉晴: 自然災害時の精神健康の評価方法. 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業. 平成 19 年度総括・分担報告書 (主任研究者: 金 吉晴).
- 116) 2008.松岡 豊, 西大輔, 中島聡美, 金 吉晴: 交通外傷後の精神健康に関するコホート研究. 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業. 平成 19 年度総括・分担報告書 (主任研究者: 金 吉晴).
- 117) 2008.金 吉晴, 加茂登志子, 笠原麻里: 母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもにも被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究. 厚生労働科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業. 平成 19 年度総括・分担報告書 (主任研究者: 金 吉晴).
- 118) 2008.金 吉晴, 加茂登志子, 笠原麻里, 元村直靖, : 母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもにも被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究. 厚生労働科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業. 平成 17-19 年度総合研究報告書(主任研究者: 金 吉晴).
- 119) 2008.中島聡美, 石丸径一郎, 寺島瞳, 金 吉晴, 加茂登志子: 精神療法の実施方法と有効性に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業 「PTSD に対する持続エクスポージャー療法の効果に関する研究 (主任研究者: 大野裕) 平成 19 年度総括・分担研究報告書. 48-55
- 120) 2007.中島聡美, 小西聖子, 辰野文理, 白井明美, 真木佐知子, 堀口逸子, 金 吉晴: 犯罪被害者及びその家族における重度ストレス反応支援プログラムの構築に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業 「犯罪被害者の精神健康の状況とその回復に関する研究 (主任研究者: 小西聖子)」平成 18 年度総括・分担研究報告書. 29-58.
- 121) 2007. 金 吉晴:精神医学における心理・社会的研究のあり方に関する研究.平成 18 年度厚生労働科学こころの健康科学研究事業「こころの健康科学研究のあり方に関する研究 (主任研究者久野貞子)」総括・分担研究報告書.pp22-27.
- 122) 2007. 金 吉晴:精神医学における心理・社会的研究のあり方に関する研究.平成 16-18 年度厚生労働科学こころの健康科学研究事業「こころの健康科学研究のあり方に関する研究 (主任研究者久野貞子)」総括・分担研究報告書.pp73-94.
- 123) 2007. 金 吉晴:重症ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追

- 跡研究.平成 16-18 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「重症ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追跡研究(主任研究者：金 吉晴)」総合研究報告書.pp4-8.
- 124) 2007. 金 吉晴:重症ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追跡研究.平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「重症ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追跡研究(主任研究者：金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp4-7.
- 125) 2007. 金 吉晴:母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究.平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者：金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp5-7.
- 126) 2007.加茂登志子, 金 吉晴, 正木智子, 加藤寿子, 大澤香織, 小菅二三恵, 中山未知: DV 被害を受けた母子への治療プログラム研究—集団療法の適応可能性の検討—.平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者：金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp9-29.
- 127) 2007. 金 吉晴, 加茂登志子, 大澤香織, 正木智子, 加藤寿子, 中山未知, 小菅二三恵: DV 被害を受けた母子へのフォローアップ研究 (1) —3 ヶ月後の精神的健康・行動・生活と母子相互作用の変化に関する検討—.平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者：金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp30-46.
- 128) 2007. 加茂登志子, 金 吉晴, 大澤香織, 加藤寿子, 小平かやの, 正木智子, 中山未知, 小菅二三恵:DV 被害を受けた母子へのフォローアップ研究 (2) —DV 被害が母親の状態把握に及ぼす影響に関する検討—.平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者：金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp47-56.
- 129) 2007. 金 吉晴:精神医学における心理・社会学的研究の統合の方法論に関する研究.平成 16~18 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「こころの健康科学研究のあり方に関する研究 (主任研究者：久野貞子)」総合研究報告書.pp73-94.

- 130) 2007. 金 吉晴:精神医学における心理・社会学的研究のあり方に関する研究.平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「こころの健康科学研究のあり方に関する研究(主任研究者:久野貞子)」総括・分担研究報告書.pp22-27.
- 131) 2006. Kim Y, Kamata M : MENTAL HEALTH POLICY IN COMMUNITY AND WORK PLACE FOR SUICIDE PREVENTION,AN AUSTRALIAN-JAPANESE PERSPECTIVE ON SUICIDE PREVENTION: CULTURE,COMMUNITY AND CARE,pp73-77.
- 132) 2006. 金 吉晴:重症ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追跡研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「重症ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追跡研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp4-7.
- 133) 2006. 金 吉晴:母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp3-6.
- 134) 2006. 金 吉晴, 加茂登志子, 小川綾子, 正木智子:DV 被害を受けた母子へのフォローアップ研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp8-22.
- 135) 2006. 金 吉晴, 加茂登志子, 正木智子, 小川綾子:DV 被害を受けた母子への治療プログラム研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp23-33.
- 136) 2006. 金 吉晴:精神医学における心理・社会学的研究のあり方に関する研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp28-33.
- 137) 2006. 加茂登志子, 氏家(三上)由里, 柳田多美, 金 吉晴:緊急一時保護所に入所したドメスティック・バイオレンス被害女性の精神症状と診断.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者: 金 吉

- 晴)」総括・分担研究報告書.pp34-45.
- 138) 2006. 辺見弘, 松岡 豊, 中島聡美, 西大輔, 本間正人, 大友康弘, 金 吉晴:交通外傷患者における精神的ストレスに関する研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「重症ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追跡研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp9-18.
- 139) 2006. 金 吉晴:母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp33-6.
- 140) 2006. 金 吉晴, 加茂登志子, 小川綾子, 正木智子:DV 被害を受けた母子へのフォローアップ研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp38-22.
- 141) 2006. 加茂登志子, 金 吉晴, 正木智子, 小川綾子:DV 被害を受けた母子への治療プログラム研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp323-33.
- 142) 2006. 金 吉晴:精神医学における心理・社会学的研究のあり方に関する研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「重症ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追跡研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp328-33.
- 143) 2006. 加茂登志子, 氏家(三上)由里, 柳田多美, 金 吉晴:緊急一時保護所に入所したドメスティック・バイオレンス被害女性の精神症状と診断.—Psychiatric symptoms and diagnosis of battered women in an emergency shelter in TOKYO—.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害がおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp334-45.
- 144) 2006. 辺見弘, 松岡 豊, 中島聡美, 西大輔, 本間正人, 大友康裕, 金 吉晴:交通外傷患者における精神的ストレスに関する研究.平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「重症ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追跡研究(主任研究者: 金 吉晴)」総括・分担研究報告書.pp39-18.

- 145) 2006. 金吉晴, 松岡豊, 西大輔, 広常秀人, 加藤寛: 集団交通災害における救急医療および精神保健活動のあり方について. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「JR西日本事故におけるトラウマ周期症状の予備研究(主任研究者: 加藤寛)」総括・分担研究報告書. pp97-108.
- 146) 2005. 金吉晴: 新潟県中越地震における地域精神保健医療チームの活動内容の実態調査. 平成16年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 新潟県中越地震を踏まえた保健医療における対応・体制に関する調査研究.
- 147) 2004. 松岡恵子, 金吉晴: 「統合失調症」病名変更に伴う病名告知のガイドラインに向けて. 平成15年度厚生労働科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業) 精神疾患の呼称変更と効果に関する研究(主任研究者: 大野裕). pp98-109.
- 148) 2004. 金吉晴, 松岡恵子: 病名変更をふまえた認知行動療法および心理教育のあり方について. 平成15年度厚生労働科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業) 精神疾患の呼称変更と効果に関する研究(主任研究者: 大野裕). pp110-116.
- 149) 2004. 金吉晴: テロ等による勤労者の PTSD 対策と海外における精神医療連携に関する研究総括報告. 平成15年度厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業) テロ等による勤労者の PTSD 対策と海外における精神医療連携に関する研究班(主任研究者 金吉晴) .pp1-3.
- 150) 2004. 金吉晴, 堤敦朗, 井筒節: 国際機関による大規模人為的災害時の産業精神保健に関する取り組み. 平成15年度厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業) テロ等による勤労者の PTSD 対策と海外における精神医療連携に関する研究班(主任研究者 金吉晴) .pp4-11.
- 151) 2004. 横田祐子, 中村安秀, 金吉晴: SARS 禍中の香港在住日本人に対する心理社会的サポート. 平成15年度厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業) テロ等による勤労者の PTSD 対策と海外における精神医療連携に関する研究班(主任研究者 金吉晴) .pp12-84.
- 152) 2004. 金吉晴, 長江信和: テロ等による勤労者の PTSD の影響に関する医療経済論的検討. 平成15年度厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業) テロ等による勤労者の PTSD 対策と海外における精神医療連携に関する研究班(主任研究者 金吉晴) .pp85-90.
- 153) 2004. 金吉晴, 井筒節, 堤敦朗: 自殺と予防対策の実態に関する日・豪比較研究 オーストラリア・メルボルンにおける地域精神保健システムの現状. 平成15年度厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業) 自殺と防止対策の実態に関する研究

- (主任研究者：今田寛睦) .pp197-204.
- 154) 2004. 松岡 豊, 中島聡美, 金 吉晴:うつ病スクリーニング介入の有用性に関する文献的検討.平成 15 年度厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)自殺と防止対策の実態に関する研究(主任研究者：今田寛睦) .pp225-234.
- 155) 2003. 金 吉晴, 加茂登志子, 柳田多美:医療現場におけるDV被害者への適切な対応に関する研究—DV被害女性の健康被害に対する文献的調査.平成 14 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「DV被害者における精神保健の実態と回復のための援助の研究班(主任研究者小西聖子)」.pp498—507.
- 156) 2003. 金 吉晴:ひきこもり事例の有病率に関する実態調査.平成 14 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業地域精神保健活動における介入のあり方に関する研究(主任研究者伊藤順一郎) .pp20-38.
- 157) 2003. 伊藤順一郎, 池原毅和, 金 吉晴, 益子茂:10代・20代を中心とした「ひきこもり」をめぐる地域精神保健活動のガイドライン.平成 14 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業地域精神保健活動における介入のあり方に関する研究(主任研究者伊藤順一郎) .
- 158) 2003. 金 吉晴:長崎被爆体験者に対する支援事業の手引き.平成 13 年度厚生科学特別研究事業トラウマのある集団に対する長期的な健康管理に関する調査研究(主任研究者 金 吉晴) .
- 159) 2002. 金 吉晴, 加茂登志子, 柳田多美:医療現場におけるDV法対応の実態に関する研究—全国主要病院アンケートより.平成 13 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「DV被害者における精神保健の実態と回復のための援助の研究班(主任研究者小西聖子)」.pp25-36.
- 160) 2001. 金 吉晴, 加茂登志子:PTSD の観点から見た社会的引きこもり者への援助.平成 12 年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業地域精神保健活動における介入のあり方に関する研究(主任研究者伊藤順一郎) .pp117-129.
- 161) 2001. 金 吉晴:附属池田小学校活動支援報告-1.
- 162) 2001. 金 吉晴, 柳田多美:家庭内暴力被害女性のシェルター保護とその心理的効果.平成 12 年度厚生科学研究費補助金(健康科学総合研究事業)災害犯罪時のストレス性障害の予後予測とヒアリング技法の研究.
- 163) 2001.柳田多美, 金 吉晴, 加茂登志子, 米田弘枝, 浜田友子:家庭内暴力被害の生じる背景について.平成 12 年度厚生科学研究費補助金(健康科学総合研究事業)災害犯罪時のストレス性障害の予後予測とヒアリング技法の研究.

- 164) 2001. 金 吉晴:主任研究者報告書.平成 12 年度厚生科学研究費補助金 (健康科学総合研究事業) 災害犯罪時のストレス性障害の予後予測とヒアリング技法の研究.
- 165) 2001. 金 吉晴, 岡田幸之, 加藤寛, 藤森立男, 川村則行, 三宅由子, 安藤久美子, 堤敦朗, 井筒節, 宮崎隆穂, 吉川武彦:長崎市被曝未指定地域住民における原爆体験に起因する精神状態についての調査報告.平成 12 年度厚生科学研究費補助金(特別研究事業)PTSD 等に関連した健康影響に関する研究 (主任研究者:吉川武彦) .pp7-43.
- 166) 1999. 小池清廉, 伊藤哲寛, 猪俣好正, 金 吉晴, 清水順三郎, 平田豊明, 寺元弘, 川副泰成, 風祭元, 高木州一郎, 吉松和哉, 普天間健, 森俊夫, 藤本淳三, 中島豊爾、花輪昭太郎, 葛山秀則, 金子晃一, 米澤洋介:公立病院の機能に関する研究.平成 9 年度厚生科学研究費補助金精神保健医療事業精神医療の機能分化に関する研究(主任:浅井昌弘).pp207-242.
- 167) 1999. 金 吉晴:災害事故時のストレス性精神障害の診断と治療指針の研究(総括報告書).平成 10 年度厚生科学研究費補助金 (健康科学総合研究事業) 災害犯罪時のストレス性障害の予後予測とヒアリング技法の研究.
- 168) 1998. 小池清廉, 伊藤哲寛, 猪俣好正, 金 吉晴, 清水順三郎他:公的病院の機能に関する研究 (Ⅱ) .平成 9 年度厚生科学研究費補助金精神保健医療事業精神医療の機能分化に関する研究(主任:浅井昌弘).pp181-213.
- 169) 1998. 小池清廉, 普天間健, 森俊夫, 伊藤哲寛, 猪俣好正, 金 吉晴 他:国公立精神科医療機関調査報告書.平成 8 年度厚生科学研究精神保健医療事業公的病院の機能に関する研究.pp1-46.
- 170) 1997. 岩崎俊司, 喜多等, 水川六郎, 古庄史郎, 小石川比良来, 金 吉晴 :精神分裂病の病識の諸相.平成 8 年度報告書厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) .
- 171) 1997. 喜多等, 岩崎俊司, 水川六郎, 古庄史郎, 小石川比良来, 金 吉晴 :告知に関する患者と家族の意識調査.平成 8 年度報告書厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) .
- 172) 1997. 金沢耕介, 山田純生, 塚田和美, 金 吉晴 :JPSS1996 年度年報.平成 8 年度報告書厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) .
- 173) 1997. 山田純生, 金沢耕介, 塚田和美, 金 吉晴 :CPRS 得点による精神分裂病の症状の経過について.平成 8 年度報告書厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) .

- 174) 1997. 塚田和美, 金沢耕介, 山田純生, 金 吉晴:初発初診分裂病の CPRS によるサブスコア作成について.平成 7 年度報告書厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) .
- 175) 1996. 金 吉晴:精神症における病識:批判と展望.平成 7 年度報告書厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) .11.
- 176) 1996. 小石川比良来, 金 吉晴, 岩崎俊司, 上妻明彦, 湯沢千尋, 松尾泉美:精神分裂病患者の病識の諸相:平成 7 年度報告書厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) .12.
- 177) 1995. 金 吉晴, 坂元薫, 加茂登志子, 坂村雄, 小鳥居直子:平成 6 年度報告書厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) .pp155-160.
- 178) 1995. 塚田和美, 不破野誠一, 小石川比良来, 金 吉晴 :JPSS (Japan Progressive Study of Schizophrenia) の調査結果.平成 6 年度報告書厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) .pp17-20.
- 179) 1995. 金 吉晴 :身体症状からみた森田神経質.岡本メンタルヘルス財団助成金報告書.pp20-24.
- 180) 1995. 金 吉晴 :精神分裂病の基礎研究としての断眠と言語連想との関連.文部省科学研究費奨励研究 (A) 報告書.文部省
- 181) 1995. 金 吉晴 :精神疾患の治療コンプライアンスの決定因子に関する研究.ファイザー研究財団短期海外研究助成金報告書.
- 182) 1994. 金 吉晴, 坂村雄, 角田京子, 芝伸太郎, 馬屋原健, 竹本一美:スキゾフレニアの主観体験の解析.平成 5 年度厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) 報告書.pp47-50.
- 183) 1994. 金沢耕介, 金 吉晴 :Manchester Scale の評定者間信頼度.平成 5 年度厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) 報告書.pp27-30.
- 184) 1994. 坂村雄, 山田純生, 金 吉晴, 金沢耕介:国立精神療養所における精神分裂病の従来診断と ICD-10JCM 診断の一致率について.平成 5 年度厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) 報告書.pp21-26.
- 185) 1994. 不破野誠一, 金 吉晴 :JPSS 初回面接の解析.平成 5 年度厚生省精神・神経疾患研究依託事業「精神分裂病の病態と治療に関する研究」(内村英之班長) 報告書.pp6-8.
- 186) 1993. 栗田廣, 金 吉晴, 勝野薫:発達障害における気分変動に関する研究.平成 5 年度厚

生省「精神・神経疾患研究委託費」「児童・思春期における行動・情緒障害の成因と病態に関する研究」報告書.

- 187) 1992. 栗田廣, 金吉晴, 勝野薫:心理的社会的ストレスと広汎性発達障害における精神発達の退行.平成 5 年度厚生省「精神・神経疾患研究委託費」「児童・思春期における行動・情緒障害の成因と病態に関する研究」平成 3 年度報告書.
- 188) 1992. 金吉晴:各国精神障害定義.平成 3 年度厚生科学研究費補助金「精神障害の医療及び保護の制度に関する研究」報告書.
- 189) 1991. 金吉晴:本研究における患者データの伝達システムについて.平成 2 年度厚生省精神・神経疾患研究委託事業「精神分裂病の臨床像、長期経過および治療に関する研究」報告書.pp64-66.
- 190) 1991. 北村俊則, 金吉晴, 千葉達夫, 不破野誠一, 坂村雄, 山岡信明, 吉濟昭, 金沢耕介, 塚田和美, 小石川比良来, 豊田純三:精神分裂病の症状学的研究—国立療養所在院患者調査から—.平成 2 年度厚生省精神・神経疾患研究委託事業「精神分裂病の臨床像、長期経過および治療に関する研究」報告書.pp5-32.
- 191) 1991. 北村俊則, 金吉晴, 藤縄昭, 中谷和夫:精神分裂病の長期予後研究のための統合的構造化面接の開発に関する研究.平成 2 年度厚生省精神・神経疾患研究委託事業「精神分裂病の臨床像、長期経過および治療に関する研究」報告書.pp52-63.